臺灣日日新報

本日八頁

五月號 日の出

高橋是清翁 處世放談

若き人々のために翁が波瀾多かりしその青年時代を顧みて浮世の波の乗り切り方を説へた適切な人生訓であり世渡りの秘訣である。

毎號賣切 至急お求めあれ

忠臣藏は今や全國大評判

これは單なる忠臣藏ではない。昭和現代の人の魂に響く痛烈な義士の眞面目を描いたもの。

讀者慰安大懸賞募集あり

新編忠臣藏 吉川英治 岩田專太郎畫

小說の面白さ雜誌界第一なり

滿洲皇帝陛下奉迎小說

小說 日滿に春匂ふ日 山中峯太郎

▲現代小說 戀の海峽 小島政二郎
汚された姉と處女の妹と美しき三人の女性をめぐる現代の男性を描破した

▲讀切小說 山の彼方 加藤武雄

▲短篇小說 嫉妬の効用 岡田三郎
皮肉な描寫に深刻な人間の姿を見せた名短篇

男泣きに泣いた話

前商工大臣 俵孫一
衆議院議長 濱田國松
俳優 中村吉右衛門

▲長篇講談 青龍刀權次 (大島伯鶴)

▲戰爭小說 翼の誓ひ 楓永恭助

▲諧謔小說 間違ひ採用 南達彦

▲挺進戰車隊の苦戰從軍記 (添田記者)

新巖窟王 現代小說 谷譲次

世界的大作の日本化したもので其の怪奇な面白さは既に定評あり!

▲白浪小說 明治大盜傳 佐山英太郎

▲冒險小說 猛獸國探檢 小山莊一郎

一世一代・私の實話

▲桃色スパイ合戰 (箱根の一夜の實話) 音樂家 山田耕筰

▲稻荷娘の執念 (地方巡業思出實話) 俳優 島田正吾

▲山中に蝮の大群と闘ふ (實話) 寺本光春

▲短歌初學講座 金子薫園

▲六大學リーグ戰豫想記

時事解說問答

▲一切を生かし働かす 新潮社長 佐藤義亮

▲最近飛行機の話 遞信省監理課長 伊勢谷次郎

逸話小說 坪内逍遙 木村毅

貧窮から奮發して遂に世界的大文豪となつた博士の若かりし日の面目と晩年までの逸話の數々

日本の獅子武勇傳 山下好平

滿洲事變畫譜

・參謀本部所藏貸下 極彩色口繪八枚 (解說つき)

畫譜內容 ▲戰車隊の頑張り ▲大風雪の沙漠行軍 ▲肉彈一勇士の戰死 ▲敵陣砲擊の光景 ▲百八十名で三千の敵 ▲自動車隊の活躍 ▲壯烈荒木中尉の死 ▲列車に迫る敵匪

若返り長壽の祕訣 橋本郷見

同じ人間でありながら長生きしたり、いつまでも元氣旺盛だつたりするのは如何なるわけか?この秘訣の祕密を說いたものである。萬人必讀!

▲女優映畫內幕話 松竹蒲田女優 飯田蝶子

▲女人國探檢記 漫畫 和田邦坊

大評判の長篇小說

妖棋傳 角田喜久雄

お蝶の青春 長篇實話 三角寛

鬼刑事捕物座談會

座談會內容 ◆刑事同志で犯人の奪ひ合ひ◆物凄い格闘◆抜目があり過ぎて滑稽な女の犯罪◆「金ちやんお止しよ」事件◆美人の女房體外姙娠の秘密◆强〇强〇の話◆蛇の葬式から捕り物◆寢坊の女房とエロ强盜等々 興味津々の讀物

出席者
元警視廳高等係 森田岩雄
元警視廳刑事 石島丑松
同 常木音吉
同高等係 松井豊次
元南洋廳刑事部 卜部三千三
元警視廳刑事 澁田忠雄

探偵小說 死頭蛾恐怖 甲賀三郎

時代小說 江戶の坩堝 野村胡堂

破天荒の面白さ 讀者みな熱狂! 奥州六十二萬石伊達家騷動の姬君をめぐつて色と慾との侍數人に美人が三人も現はれて美しく面白く實に天下一品の名作!

定價五十錢

東京牛込 新潮社 發行

御入京第二日の皇帝陛下

明治神宮に御參拜

燦！日出づる國の御聖業を

御心から御敬慕あらせらる

【東京七日發】櫻の日本に輝やかに御來訪日滿兩國皇室の御交驩に記念すべき數々の御盛事を擧げさせられ御意義深き第一日を送らせられた滿洲國皇帝陛下には、御旅館赤坂離宮で御旅行の御疲れを癒やさせ給ふべく日本での最初の御一夜を送らせられたが、御入京第二日の七日はかねて御敬慕の明治天皇の御神前に御參拜更に聖德記念繪畫館で御聖德の御大業を偲ばせられた上、皇太后陛下を御訪問御來訪の御挨拶、引續き滿洲建國の尊き犧牲となつたわが勇士を祀る靖國神社に御參拜ホロ〱と散る櫻の中に英靈を慰めさすべく御參拜あらせられた

この日 皇帝陛下 には陸軍式御通常禮裝、天皇陛下から御贈進の大勳位菊花大綬章及び蘭花大綬章副章御佩用、林[illegible]、沈宮內府大臣、[illegible]、謝外交部大臣、[illegible]長以下の隨員乘車の[illegible]で午前九時三十分御旅館たる赤坂離宮を御出門、四輛から成る自動車御列で明治神宮に成らせられ、赤松の亭々とそびえ立つて神域[illegible]にただよふ南神門[illegible]櫻門前にて御下車、櫻門前右側に先發列した皇帝陛下の隨員、左側の後藤內相、[illegible]神社局長などに御會釋を賜はりつつ秋岡權宮司の御先導、林首席接伴員以下接伴員、沈宮內府大臣以下の隨員お供にて

神さびた

檜造りの拜殿に進ませられ御手水、御修祓に[illegible]めさせられた上、拜殿內中央を御通過、沈宮內府大臣のみ扈從して菊御紋の浮彫に森嚴を極めた中門を經られ神鎭まります本殿木階下に御立ち遊ばされた、この朝未明の頃から神域は禰宜、主典等奉仕して御設萬端を整へ純白の狩衣に黑の烏帽子つけた有馬宮司は務を正して嚴かに皇帝陛下拜座の右に御待ち申し上ぐ、皇帝陛下には拜座につかれ權宮司の高く捧げる玉串を神前に奉奠あらせらる 神域閑として聲なく、恰も太古の如きしじまさに神々しさいや增す 皇帝陛下には恭しく

御神前に

御拜禮今回の御來訪と日本皇室と御交驩のおよろこびを御心のうちに御奉告遊ばさるれば隨員一同もまた拜禮かくて秋岡權宮司は玉串を本殿大床の案上に奉奠この旨陛下に奉告申しあげたので陛下には同九時五十五分御退下、自動車御列で明治神宮外苑の聖德記念繪畫館に參入あらせられた

聖德繪畫館に御入

元勳の滂沱たる感淚の大壁畫等

御感慨御深げに御巡覽

繪畫館の[illegible]景色を[illegible]外にやがて若入日本のスポーツ[illegible]の行はれる外苑のアスファルトの美しい舗道に御車を進められれば早くも五分の後同十時には明治天皇の御聖德を記念し奉つてわが日本畫壇の[illegible]七十二氏が心血を濺いで御[illegible]御一代の大帝が御在世時の御[illegible]內政、外交、軍事、學術、產業、交通等にわたつて史實に基いて謹み揮毫したる大壁畫を御[illegible]遊ばさるべく、內田外苑管理署長の御先導、狩衣姿の有馬宮司御說明で大帝の御聖業を偲び奉るにふさはしい莊嚴な館內に入らせられ、まづ右側の日本畫、[illegible]、嘉永五年京都御苑內[illegible]中山邸[illegible]所で御[illegible]遊ばされた[illegible]から順次御巡覽になつたが、御畫から伏見鳥羽の戰、大政奉還[illegible]、御即位前後の御畫を御巡覽[illegible]の御畫には御[illegible]と御[illegible]の感を御深げに御巡覽になつた、わけて大帝が岩倉公邸に行幸元勳具視病床の具視を問はせられた[illegible]夜御親しく[illegible]として大帝を拜する病床の具視の姿は皇帝陛下の御眼をひき、林出行走を通していろいろと御言葉あつたとのことである、[illegible]いてグラント將軍との御對話の御畫から洋畫へうつり[illegible]までの御一生を御[illegible]く御覽の上同十時五十八分繪畫館を御出門大宮御所に成らせられた

所を御訪問遊ばされた、日頃御[illegible]かに拜する御所もこの朝御來の皇帝陛下御參入のこととて皇太后陛下にも、いと御待兼ね同十一時には御車寄せ陛下に入江皇太后宮大夫御[illegible]により御出迎へし、やがて[illegible]御到着皇帝陛下降り立たせらると入江大夫御會見の間に御案內申上げ、大夫侍立[illegible]御用掛の御通譯のもとに初の御會見遊ばされ、皇太后陛下には御[illegible]の後御[illegible]來を[illegible]せらる御優しき御言葉を、皇帝陛下には日本皇室の御歡待に深謝された御挨拶をより沈宮內府、[illegible]、謝外交部各大臣等の各任以上に謁見を賜ほり、皇帝陛下には御車寄せ陛下で入江大夫御送[illegible]を同十一時十分御退出遊ばされた

御使を御差遣

皇太后陛下には七日大宮御所に皇帝陛下御來訪あらせられたので右御答訪のため同日午後四時入江皇太后宮大夫を御旅館に御差遣遊ばされ入江大夫は赤坂離宮に參入、首席隨員たる沈宮內府大臣に會見[illegible]へして退出した

御團欒

皇太后陛下からの畏き御沙汰をお下の御やく御入京に際し一入御待兼の皇帝陛下御妹君たる三格々は六日午後三時從兄の潤僩氏と共に赤坂離宮に御參內御兄君皇帝陛下と御久々に御對面になり陛下の御居所で御三方水入らずに久濶を敍せられ何くれと御物語あり午後六時十分まで御團欒に過され七時近く御歸りになつた

皇太后陛下を

御訪問

大宮御所に

滿洲國皇帝陛下には、皇太后陛下と御會見、御來訪の御挨拶を述べさせる爲め、明治神宮御參拜、聖德記念繪畫館に御參入に次いで七日午前十一時青山御所[illegible]の大宮御

靖國神社に御參拜

勇士の靈に御默禱

滿洲の荒野に露と消えた英靈に

嚴かに謝意を表せらる

【東京七日發】滿洲國皇帝陛下には滿洲國建國[illegible]の爲に一身を捧げた勇士の英靈に對して謝意を表させ給ふため七日靖國神社に御參拜あらせられた午前十時四十分[illegible]の一[illegible]に[illegible]陸軍[illegible]大臣[illegible]十一時十五分には[illegible]

內に[illegible]お待ち申上ぐる[illegible]國皇帝陛下には午前十一時二十八分沈宮內府大臣以下の隨員を從へさせられ自動車にて御來社、[illegible]宮の御先導にて[illegible]を受けさせられ同社[illegible]宮の[illegible]にて[illegible]を[illegible]皇帝陛下には[illegible]

それより[illegible]にて[illegible]御手水[illegible]御[illegible]あり、次いで[illegible]宮司の[illegible]に[illegible]の[illegible]

[illegible]あらせられ[illegible]

謁を賜ふ

建國關係者に

賀表、奉迎文も御受納

【東京七日發】六日滿洲國皇帝陛下には七日午後七時參入の[illegible]山東京府知事より沈宮內府大臣を經て全府民を代表する懇談なる賀表を受けさせられ、午後五時階上において近衛[illegible]、岡田[illegible]兩院議長に謁見を賜ひ兩議長より捧呈せる奉迎文を受けさせられ、引續き頭山滿翁等左記二十名の滿洲國建國關係者に謁を賜ひ懇ろ有かたき御言葉あり、終つて

大東京の夜景

御窓から御覽

市民の奉迎に應へさせらる

【東京七日發】滿洲國皇帝陛下御入京第二夜の七日夕皇族殿下御招宴と同時刻離宮內では一方山座秩父宮御用取扱以下各御用掛並に接伴員、隨員等に御食事を賜つた、皇族殿下の御招宴を終ると九時すぎ皇帝陛下には接伴員隨員を從へさせられて離宮正面御車寄上の[illegible]の間の[illegible]色のカーテンを排され御窓から火の海と化した[illegible]離宮正門前に集つた感激の市民の奉迎に應へさせられて後大東京の夜景等[illegible]かず御覽遊ばされたが[illegible]て離宮

內閣審議會に

政友から三名懇望

現內閣補强の關ケ原

『擧國一致』の人選は今月末

【東京七日發】內閣審議會の人選に關しては未だ表面的には何等具體化してゐない[illegible]岡田首相は之れを唯一の內閣補强工作として擧國一致の下に局面打開の方策を講ずべく着々歩を進めてゐるので今[illegible]末には[illegible]た[illegible]とならう[illegible]化するものと[illegible]されてゐる[illegible]政府の意[illegible]する內閣審議會委員の顔觸れは大體左の如くである

會長	首相	岡田啓介	同 政友會	鈴木喜三郎
副會長	藏相	高橋是清	同	山本条太郎
委員	前首相	齋藤實	同	望月圭介
同	前內相	山本達雄	同 民政黨	川崎卓吉
同	元首相	若槻禮次郎	同	賴母木桂吉
同	貴族院議長	近衛文麿	同 國民同盟	安達謙藏
同	衆議院議長	濱田國松	同	[illegible]
同	貴族院	[illegible]	同	[illegible]
同	[illegible]	[illegible]		

帝都は晴れ

御沿道は人の波

軍大佐佐伯賢一、步兵中佐竹下義晴、同和知鷹二、步兵少佐片倉衷、[illegible]正、小泉六一、宮島大八、[illegible]

【東京七日發】御入京第一夜を明けさせられた滿洲國皇帝陛下には聖德記念繪畫館、大宮御所及び靖國神社に成らせられ御設定通り午前十一時四十三分赤坂離宮に御歸還遊ばされたが、此の日御沿道[illegible]は折柄の晴天と日曜日の事とて[illegible]入京當日の奉迎に洩れた市民が續々して御英姿を拜さんと押寄せ非常な賑ひを呈した

日滿兩皇室の

彌榮を祝し奉る

岡田首相謹話

【東京七日發】岡田首相は六日夜宮中豐明殿における聖夜の宴に列し午後九時四十五分宮中退下後官邸において左の如く謹話した

此の夜の御宴には誠に莊嚴隆盛の極にも[illegible]然たる和氣流るるが如きものあり畏くも聖上陛下御親ら御杯を擧げさせられ滿洲國皇帝陛下の御健康を祝され滿洲國皇帝陛下亦御自ら杯を擧げさせられて聖上陛下の御健康を祝し奉り共和やかなる光景を拜して我々は[illegible]つ日滿兩國の堅き[illegible]結合を思ひ感激の涙を禁ずる能はざるものがあつた宮中には滿洲國の國花たる蘭花を以て飾られ兩國の國旗[illegible]宴を飾ると共に[illegible]しく參列者一同何れも最大の歡喜を感じ心から兩皇室の彌榮を祝し奉つた滿洲國皇帝陛下遊ばされ聖上陛下が御見送り申上げ給うたことも又感激の極みであつた

て一同は別室で御鄭重なる茶菓を拜受し感激裡に夕刻退出した

頭山滿、德富蘇峰、陸軍中將高田豊樹、同森連、同大谷一男、同安藤和三郎、同土肥原賢二、少將二宮健市、同岡村寧次、步兵大佐[illegible]多誠一、同塚田攻、海

輝く御盛宴

皇族殿下を御招待あらせられ

花鳥の間で御開催

【東京七日發】滿洲國皇帝陛下御主催の皇族殿下御招宴は、七日夕六時半から御旅館赤坂離宮階上、カットグラスのシャンデリア燦々と輝く大食堂に催させられた、この夜お招きの皇族殿下は秩父宮同妃兩殿下、高松宮同妃兩殿下を始め奉り各殿下二十餘御方大々陸海軍式の禮裝に大勳位本綬御佩用ロブ・デコルテの中傳服御美しく、[illegible]ら續々と御旅館に御參集遊ばされ「花鳥の間」に御參入、同じ滿洲國陸軍式の御禮裝に、數多の勳章を御胸間に御佩用あらせられた皇帝陛下と御會見、同六時半和やかな晉宵に華やかに御開宴、宮內省樂部の管絃樂ピエーヌのブフエー・ド・クーヒ[illegible]など曲の奏樂に御興を添へ奉るうち、御入京第二夜を皇族殿下と御歡談裡に御食御交驩をつくさせ給ひ、終つてお茶菓があり皇族殿下には同夜八時過ぎ御退出遊ばされた、なほこの夜沈、謝の各大臣などの隨員林、大谷、白根、高裁などの接伴員にも陪食を賜はつた

各宮家に御答禮

【東京六日發】中村接伴員謹話 皇帝陛下には御恙なく御入京宮城に御參入遊ばされました同日皇帝陛下には東京驛御出迎へ遊ばされた各皇族殿下に御答禮のため午後三時五十分久野村接伴員の案內で沈宮內府大臣が秩父宮、高松宮、李王、李鍵公、伏見宮各御殿へ又高見小路接伴員の御案內で沈宮內府大臣が梨本宮、李王、李鍵公各御殿へ又[illegible]外交部大臣は東久邇宮、竹田宮、北白川宮、朝香宮、賀陽宮、閑院宮、李王、伏見宮各御殿に伺候御挨拶申上げた

御[illegible]を御中に滯在する東京市主催の奉祝花電車を御らんあそばされた陛下には非常に御滿足をおぼえさせられ、かくて御入京第二日も[illegible]御感深いまま御滯在になつたのである

靖國神社から

二品を獻上

【東京七日發】靖國神社では滿洲國皇帝陛下の御參拜に光榮と感激とを表するため皇帝陛下に

一、靖國の銘ある短刀一口

一、靖國神社寶鑑一帖

を御參拜あらせられた七日の神饌[illegible]の二品を賀茂宮司より御[illegible]上申上げたところ陛下には御嘉納あらせられた

首相が懇請しても

鈴木總裁拒絕せん

內閣審議會問題を繞つて

政府、政友關係は多難

【東京七日發】政府對政友會關係は彈劾動議の跡始末以來次第に惡化し來たつてゐるが、議會後政府が內閣審議會の設置に依つて難局中の不成績と不評を挽回せんと努力しつつあるに對し、政友會は床次系及び一部分子を除く外既ろ冷靜的にこれを見て居り從つて兩者の關係が更に睨合して好轉する事は殆ど絕望視されてゐる、特に同黨の新幹部は大部分擬直系と從來政府に好意を持たぬ久原系に依つて成り立つてゐる爲反政府的色彩が強く、從つて此の組織より生み出ださるべき黨の指導方針は勢ひ強硬方針とならざるを得ずと觀られるので、若し滿洲國皇帝陛下が御退京後岡田首相が鈴木總裁を訪ひ同氏の內閣審議會參加並に政友會から同委員を送る事を懇請するにかかつても、鈴木總裁は黨議が既に決定してゐるからと言ふ簡單な挨拶を以つて之を拒絕する事に肚を決めてゐる模樣であるから今後の政府政友關係は多難を豫想されてゐる

賀屋主計局長

十日渡滿

【東京七日發】賀屋大藏省主計局長は議會明の休暇を利用して滿洲國視察をなす爲め來る十日午後十時三十分東京驛發列車で西下、新京、奉天、大連等において日滿兩國要人と日滿經濟提携並びに財政問題等に付き種々意見の交換をなし本月末歸國の豫定である

水產事務の

協議會

五月六日から

【東京七日發】農林省水產局では本年度水產事務協議會を來る五月六日より十三日まで農林省第二會議室において開催、道府縣水產主務課長、水產主任官その他關係職員、拓務省、朝鮮、臺灣兩總督府關東廳、樺太及び南洋廳、文部省水產講習所委員等出席し協議する筈である

英國が關係國

と折衝開始

【ロンドン六日發聯合】獨逸の再軍備問題對策を議すべきストレーザ會議は愈々十一日に迫つたがロンドンではイーデン國璽尚書の歸還を待つて早くも關係各國代表者間に會議に於て討議すべき議題並に[illegible]に關する外交交渉が開始された

米穀協會

發會式

七日臺中で開催

【臺中電話】全島米穀業者を主體とする臺灣米穀協會は臺北州黃純青氏、臺中州洪火[illegible]氏等主體の下に七日午後一時臺中市公會堂にて發會式を擧行したが、各地業者倉庫代表者、生產者及臺中州より松野勸業課長、森臺米主事等臨席、會則規約を滿場一致にて可決した事業は次の如し

一、產米の改善
二、販賣の改善
三、臺灣米の宣傳
四、臺灣米の時期的統制
五、臺米の共同購入
六、米穀檢查倉庫共同利用の設備
七、米穀調查研究
八、倉庫業務の研究
九、米穀に關し必要なる協議又は無[illegible]

（來航）花蓮港より海穩やか[illegible]伏に南下中、臺大教授早坂一郎、臺北帝大教授楠川定、代議士中井川浩、賀田組社長賀田以武、小濱內務局長夫人、日本航空會社技師淺香良一、三五公司[illegible]場主事小林正之介、臺灣米穀移入商同盟松原雄太郎外四名、千里丸[illegible]觀光團外多數一同無事八日午後一時着港豫定（七日客無電）

花蓮港街の

有權者

千七百名見當

【花蓮港電話】多年の懸案である臺灣地方制度改正は愈々十月一日から實施に決定したので花蓮港當局でも既に本月一日から着々準備を整へてゐるが、臺下にて右制度の實施を見るのは花蓮港街及び玉里庄の一街一庄だけである而して昭和九年度末現在に於ける花蓮港街居住者中街協議會員の選擧權を有する者は內地人本島人を合せて約一千七百名に達してゐるその內內地人は一千二百五十名で總數の七割四分を占め本島人は四百四十名の二割六分で蕃人は八名だけであるが選擧締切迄には內地人の有權者は[illegible]相當增加を見る模樣である

シナチク

始政館に四十周年を迎へて今秋には地方制度の改正も斷行されて、新選舉の面目は一新するが一向に改まらぬのはお役所の仕事振りや總てのやり方だ▲一寸とした懸案でも總て『前例』がなくては解決しない、この『前例』が十年一日お役所の仕事の金科玉條となつてゐたのでは、如何に新味や、時代色を出さうとしても百年河淸を待つの類▲そこでこの前例なるものを徹底的に檢討し大改革を斷行しやうと云ふ計畫が總督府の事務官連から成る睦月會の間に擡頭し川村總督府事務官等が音頭取りとなつて目下計畫中とある▲それには先づ現在の制服の制度を廢止して服裝から改革する官僚臭味を取り除くやうにしてはどうかとの意見が出てゐる、これがものになると何はさて措いて洋服屋が大喜びだら▲次きは宴會の席次だ、これは下らぬことではあるか、案外主客共これには惱まされる、これも年の順位か、頭の光度くらゐできめるやうにして、位階勳等などの鹿爪らしいことは一切抜きにするやうにしやうと云ふのだ▲尤ヶ斯ういふ陞敍？を若い事務官連が廻らしたのは禿頭組や老齡組を上席に敬遠して周圍の氣兼ねを取り除きたいとの意向もあるらしいと▲それは兎に角、餘り結構でも無い、前例墨守は宜い加減にして新しいりよい新例をどしく作るべき時代ではあるまいか。

大亞協會座談會

李氏等を招いて

發展大亞細亞協會では八日午後四時から鐵道ホテルで來臺中の貴族院議員李[illegible]西利八郎中將並に北平政務整理委員會委員李[illegible]一氏の出席を煩はし座談會を催す由である

人事

▲山中[illegible]東少將（[illegible]） 六日新竹より來北（[illegible]）
▲[illegible]氏（[illegible]社長） 七日花蓮港へ
▲橋本貞夫氏（[illegible]） 七日花蓮港へ
▲[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]

大阪商船 基隆出帆
門司神戸行 高千穗丸 四月八日正午 蓬萊丸 四月十三日正午 瑞穗丸 四月十七日正午

近海郵船 基隆出帆
門司神戸行 吉野丸 四月十日正午 大和丸 四月十五日正午 朝日丸 四月二十日正午
大連仁川行 屹阜丸 四月十六日正午

辰馬汽船 出帆
內地行 宮殿丸 四月八日 桃葉丸 四月十五日

大連汽船 基隆出帆
大連直行 山西丸 四月十二日正午 山東丸 四月廿四日正午
代理店 丸一組 基隆 高雄 北港

內科 外科 小兒科 レントゲン科（入院隨時）
庄司醫院
臺南市港町（錦町通り）電二〇九

天 金庫 谷

登錄 金鳥印かとり線香
人畜無害 渦卷かとり線香
商標 效力拔群 和歌山縣今英除蟲菊株式會社監製

外科 X線科 本町三宝通り（辰馬商會向ひ） 菅野醫院（病室完成） 電話五〇六番

一般外科 皮膚科 泌尿器科 X線科 本町二丁目 一番瀨醫院 電七八九番

外科 本町三丁目 菅沼醫院（入院應需） 電話九五四番

內科 皮膚科 性病科 台北京町（五二）（郵便局）電四八 千本醫院（入院隨意） 醫學博士 千本信次

小兒科 京町一丁目五二 關屋醫院（入院隨意） 電話一六七二番

皮膚科 性病科 台北市表町宝通り 三舩丸醫院 入院應需 電話一八五五番

耳鼻咽喉科 榮町一ノ八 天野醫院 電話二〇一番

內科 台北市京町一丁目 電話二九九八 秋山內科醫院（入院室完備） 秋山烏大

產婦人科 台北市大和町四丁目七番地（春日通り） 福田醫院（入院室完備） 電話二四九七番

小兒科 榮町一丁目六 松山醫院 電話二五四〇番

耳鼻咽喉科 本町二丁目（博物館横） 藏田醫院（入院隨意） 電話二八七七番

小兒科 表町一丁目三（中都隣り） 武藤醫院（入院隨意） 電話一八五九番

眼科 台北市表町二ノ八 電話三四三番 鐵道ホテル正門前 塚原眼科醫院（入院隨意） 醫學博士 塚原義夫

產婦人科 京町三丁目宝通り 鶴田醫院（入院隨意） 電話二二九七番

親鸞聖人 (173)

吉川英治作　山村耕花畫

女人篇

時雨の罪（七）

事件は複雜だ。裏と表がある。問題となつた和歌などはむしろ搦手の表面の旗にしか過ぎない。僧正があつてはとかく思ふさまに措算へない僧門の一派や、月輪家の實が隱退したこの機に、政勢力を一掃して、完全に自分たちの門閥で朝廷の實權を占めやうとする新任の關白兼原道基や密司右大臣などの意思がかなり微妙に作用してゐるものと見て大差ない。

從つて、この事件に對して、綽空には綽空の觀察と批判があつた大體、彼は僧正の遁居に、賛同してゐた。僧正の悲憤のほどにも、さもあることと共鳴してゐた。自分が叡山の大衆に威嚇され嘲隔されても、その學說は曲げ得られないやうに、もし僧正が、堂上たちの陰險な小策に怯やて、歌人としての態度を曲げたら、時に對する冒瀆であり、又僧正自身の人格をも同時に捨てて踏みつけることになる。

で綽空は、師の房が、逃流にならうとも、あくまで正義を歪げないやうにと心を祈り、今も、晴歌のうちに、師弟の心がまへを固めてきた所であるが、かうして、慈圓の弟子や知己や、和歌の友人たちが、一室のうちに愁ひの眉をひそめたり歎息をもらして胸を傷めあつてゐる狀を見ると、おのれにも思ひ、また師の老齡な體なども思はれて無理に、自己の考へ方を主張する氣にもなれなかつた。

「おすがりいたします、綽空御房この場合、あなたのお力に縋むよりほかに、一同にも、思案はないのでございます」

花山院の公審も云ふし、關殿も云ふし、他の人々も、すべて同じ意見だつた。

綽空はやむなく、

「さあ、私の力で、及ぶや否やわかりませぬが、御一同の誠意を負うて、師の御房に代つて參內してみませう」

と答へた。

るやうと、その翌る日にも、名交大納言から、參內を促して[illegible]

弟子の房殿から、

「先日もお答へいたした通り、僧正は病中にござりますが、もし、法弟の綽空少僧都でよろしければ何時でも、參內いたさせますが」

と、代人を願つた。

使者が、折返して、

「代人にても、苦しうないとの御命です」

と云つて來た。そして、日と時刻とを、約して行つた。

その日は、寒々と、春の小雨が光つてゐた。

身を淨めて、綽空は、參朝した御所の門脇をふかく進んで、

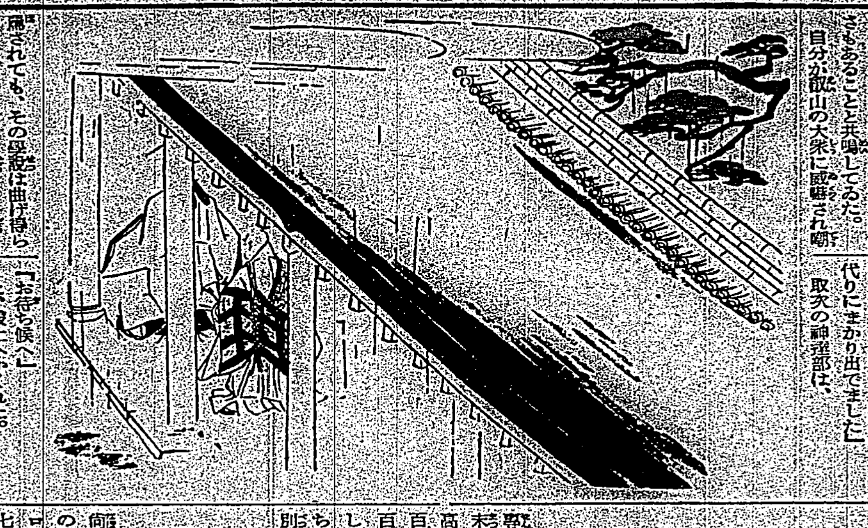
「聖光院門跡綽空少僧都、師の僧正のいたつきのため、召を承けて代りにまかり出てました」

取次の神祇部は、

「お待ち候へ」

と、殿上へかくれた。

初めて、御所の禁苑まで伺候した綽空は、神ながらの清淨と深嚴な氣に打たれながら、又一面に、いかにして今日の使命を全うするか、僧正の名を辱しめまいかと、ひそかに、心を弓のごとくに張つてゐた。



黄金景氣の金瓜石と瑞芳
擴張工事が完成せば更に大飛躍

ゴールドラツシユの金瓜石鑛山では精鑛所の大擴張と共に從來ギナ鑛所及び金瓜石の精鑛所へ積み出して居た鑛石を基隆より積み出すべく六十萬圓を投じ目下水南洞の新工場から基隆市の濱町まで十三粁の鐵道を敷設中であるが、一方基隆瑞芳間のバスも金瓜石へ延長工事中であるから基隆瑞芳の金瓜石であり從來交通の不便であつた同鑛山が鐵道やバスに依つて連絡される事は基隆市民にとり頗る愉快な事である。金瓜石に遊ぶ者は風光明媚な海岸線の景色を賞でつつ鑛山の側面に出た時行手の山頂に二千尺に屹立した大岩を見るであらう、遠見には大した岩でもなさそうであるが高さ百六米、長さ千五百米、鑛幅最大二十五米あり世界に其の比を見ない露出金鑛で金瓜石本山と呼ばれてゐる、上部は主として金鑛であるが下部は合金銀銅鑛で金銀銅の含有鑛は前千二百萬圓と稱されてゐる、此の一大

鑛床は 明治三十年頃から掘り始め縱橫に無數の穴を明けられてゐたが其の後石安山岩金鑛が良好な鑛石である事が判り現在は三百人ばかりの工夫が周圍から除いてゐる、其の中腹には山神が祭られ同山の氏神樣となつてゐる

金瓜石 鑛山即ち金瓜石[illegible]業の繁盛は現在施業中の金銀鑛五百五十一萬三千三百四十噸以外砂金四、銀八、石炭九、水銀、硫黃各一計二十三鑛區六千七百八十萬坪の廣い面積を持ち且つ從來含有量が少く採算上に於ても採取出來ぬ物として捨てられてゐた鑛石も新式工場の設備と現在の相場を以てすれば充分引合ふものと見られてゐるだけでも十年位の鑛脈はあるとの事である

現在の金瓜石に於ける採業は各坑から採掘された原鑛は相當大別に選鑛の上富鑛は索道に依つて運ばれ其の余りは金瓜石製鍊所へ送られるが鑛石は[illegible]

運鑛が 最も大切な仕事になつて居り本山露頭鑛及び長仁[illegible]鑛石として捨てられる鑛石は[illegible]して此處の鑛石は銅分を主として金銀は[illegible]中から一瓩至二瓩至一五瓩至十瓦分の金を取れぬ、然し

流出した水の中からでも古銭を入れて置くと銅が附着し本年二三月は月産金の銅が取れた此處では古銭や水が莫大な金になると云ふ

水南洞 の新工場は[illegible]設備が不完全で設備も古く品位の低い鑛石は採算上困難とすることが出來ない爲に昨年四十五萬圓の巨費を投じ現工場の二倍の能力を有する新工場を建設中である、之と同時に選鑛所、精鍊所、索道の延長工事等に要する經費は[illegible]十三米、(?)積込所の索道延長は本年五月までには完成する豫定であるが其の曉には採鑛額は倍加すると云はれてゐる即ち昭和八年の統計に依れば金二百萬圓、銀十五萬圓、銅百七十一萬圓計四百八十六萬圓であつたものが現在は六百六十七十萬圓となつて居るが更に千三百萬圓に達しようと云ふ樂觀である

瑞芳鑛山 金瓜石に隣接して瑞芳鑛業の瑞芳鑛山がある、鑛區は金鑛區が百十八萬六千五百坪、金鑛區十一萬六千坪の二ケ所及び砂金鑛區が一百十九萬四千五百坪で金瓜石の鑛區が銀銅を多く含有してゐるに反し瑞芳のそれは銀を多少含むだけで金が主となつてゐる、その

品位を 同じく上鑛は一瓩分の五瓦至十瓦、中鑛は百瓦分の十瓦至百、並鑛は百瓦分の五瓦至十となつてゐるが、上鑛の內の特別いいものになると一瓩分の鑛石の中に七十瓦の金と二十九瓦の銀を含む樣な品位の高いものもあるが此の鑛石は昭和六年末代鑛四番坑で發見されたものであるが一つ鑛石から四十瓦(當時の相場で二十萬圓)も純金が採れたさうである之を其のまま保存して置けば世界一の鑛石となつたであらうに惜しい事には前記のサンプルだけ殘して

採金 して仕舞つたさうだ瑞芳の金鑛は鑛石にして上鑛が二千五百貫、中鑛五十五萬貫、並鑛百廿萬貫となり又昭和五年以來の產金銀高は左の如く近年スバラシイ增產を示してゐる

	金	銀
五　年	六二、三元	三、〇四
六　年	八〇、三七	三、九六
七　年	一〇四、元	四七、一六六
八　年	一二四、八六	四六、八六
九　年	一三六、九九	四〇、九六

天日製鹽の大增產
二千四百廿六萬瓩
豫定より四割五分の增加
十年度は三千萬キロ突破か

專賣局鹽腦課に於ける三月末日現在即ち九年度中の天日製鹽高は生產豫定二千六十七萬八千七百キロに對する實績として二千九百九十二萬二千七百六十五キロに達し九百二十三萬二千六十五キロ即ち四割五分の增加を示した、等級別は左の通りである（單位千キロ）

	生產豫定	實收	增加步合
上等鹽	一、三〇	一二六、八	元
並等鹽	八、四三	一〇、九六	元
乙並等	八、六三	一三、八四	三三
計	二〇、六六	二九、二〇	四三

同年度中臺灣製鹽會社の再製鹽の生產豫定許可數量二千七十萬キロに對する實績は二千二十四萬二千七百六十八キロを示し三十五萬八千二百三十二キロの減となつてゐる、しかして本年度の生產豫定高は上等鹽四百五十一萬二千六百キロ、並等鹽九百六十九萬九千二百キロ並等鹽乙二千四萬四千百瓩合計二千四百廿六萬五千瓩で九年度の實生產高に比し約五百萬キロを消極的に見積られてゐるが結局從來の實狀から觀て三千萬瓩を突破するであらうとの豫想も行はれてゐるのであるが、本年度は年度初の四月から生產鹽の最盛期に入るので天候次第で上半期中に一ケ年中の六七割の生產高を占める狀態である、天候關係が製鹽高を支配する事になるのでこの自然の支配をる方針の模樣である人爲的に緩和する對策として雨期中の製鹽が指導奬勵されてゐるが製鹽當業者間では多年の慣習に依り雨期中製鹽作業を休業して鹽田を魚塭に改め養魚經營にて副業的な收入を擧げてゐる、當局ではこの魚塭經營を廢止せしめ鹽田を維持すると同時に期間中雨天を除く外專ら製鹽作業に從事すれば魚塭の經營に依つて受ける收入額以上に達することが明かにされたのであるが、一部當業者の間には能諒解しない嫌が存在して實行困難な傾向もあるが當局でも雨期の期間中製鹽勵行に對して未だ全然成功した譯でもなく漸進的に指導する方針の模樣である

米日爲替小落

【ニューヨーク六日發聯合】本日の當地に於ける米日爲替は一仙安の二十八弗四十仙と引けた

一月以降二月に至る滿九ケ月間の輸出補償告による輸出補償手取買取總額は九千四百四十七件、二千六十四萬八千五百五十四圓九十錢で前年に比較すると著しき增進であつたが之を仕向地別に見るとアフリカ中米南米と新市場に依然增加しロシア、バルカンの新市場が漸く少し本邦輸出貿易の現狀を如實に物語つて居る

ロシア向	一、四〇千四	三件
アメリカ向	三、三〇三	二、八六六
南米向	三、四九	二、三九
中米向	二、〇四三	二、〇七
中小アジア向	九六八	六八
バルカン向	一四	三
其他	一、二〇	六〇四

輸出補償手形買取額激增
九千四百件
二千六十萬圓

商工省貿易局調査の昭和九年四月

兩鋼管會社合併の事情
完全に統制されん

【東京七日發本社特電】日本鋼管の昭和鋼管吸收合併成立の結果內地鋼管界は今後は日本鋼管と住友伸銅鋼管との二社となつた譯であるが、住友は主として海軍關係の特殊品を生產分野とするものであり且つ日本鋼管との間に共販機關として瓦斯管販賣會社が從來から成立されてゐるので同社は元來直接競爭者ではない、從つて今回の日本の昭和合併により鋼管業は事實上殆んど完全に統制されたものと云へやう、而して合併後の日本鋼管は生產能力に從來の年十二萬噸に新たに昭和の年五萬噸を加はるが、この合併により鐵管は注目に値するは新たな日本鋼管と日本製鐵との關係である、即ち日本鋼管は昭和鋼管の創立以來其のアウトサイダーとしてこれと事々に對立的立場を執つて來たのであるが、今回昭和鋼管社長の澁澤正雄氏の地位を占めてゐた澁澤正雄氏が新たに日本鋼管の取締役として入社して來る所くて澁澤氏に執つて今後は從來より絶對對立的立場にあつた日本鋼管日鐵の二社に一人二役を演ずる始末となる譯である、澁澤氏としてはその立場上からも今後はこの兩社の對立を緩和すべく努力を傾けることは當然で、又傳へられる所によれば今回の合併に際し澁澤氏と中井日鐵社長との間には、生產分野協定を示す如き諒解且つ明白なものではないが或程度の諒解が暗默の中に成立してゐる事實ありとされてゐるから、兩者の合同は今後は協調的に傾いて行くのではないかと觀測される。若し斯くの如くなつた場合は、この兩者の合同も現實の日程に上つて來る時が到來すること も豫想されて、惹いてはその他のアウトサイダー各社の合同統制も案外早く實現するものと見られてゐる

基隆は水稻よりも蔬菜園を奬勵
その方が遙かに利益
市勸業當局の方針

基隆市に於ける昭和十年度の總反に依る特種作物割當甲數は二十五甲にて前年に比し五甲增加してゐるが、右は基隆の如き特殊地域にあつては水稻の如き一般的作物より特殊的な蔬菜を栽培した方がより利益であり、米穀統制の上からも有意義であると云ふにある、即ち基隆市に於ては現在牛額六十萬圓內外の蔬菜を消費してゐるが、右の內三分の一は船舶に購入されるもので主として島內から供給されて居り、其の內基隆市の生產額は十分の一にも達しない狀態である。現在水田面積は三百甲あるが三期作は雨が少い爲め大した收穫を望まれず、一、二期を通じ平均十二萬餘に過ぎないにも拘はらず蔬菜栽培は今後いやしくれてゐる合理的な栽培法に依れば水稻作に比し三四倍の利益を上げ得る見込みは充分あると云ふので、市勸業課にては極力之が栽培に力を入れ先般の第一回の蔬菜品評會を開催し良好以上の成績を納めた次第であるが、基隆市に於て牛蒡、人參大根等が斯くの如く見事に出來ると云ふ事は農民自身にも知られてゐなかつた、云はんや地主の如きも今更其の實狀を見て驚嘆し利益の少い水稻より蔬菜に轉向せしめ様と云ふ者が多かつた程であり、將來は全蔬菜を自作したい希望を持つてゐるから他都市の如く都邑蔬菜の多きに惱む様な心配がなく蔬菜の金を活用して蔬菜栽培に努めつつあると

本期砂糖積取高
三月中は三百廿六萬擔
累計九百五十一萬餘擔

砂糖出荷の最旺盛期となり三月中に於ける島內各港の積取りは合計三百二十六萬五千九百二十七擔に達し十二月以降の累計九百五十一萬八千六百七十四擔に達した四月中には三百萬擔、五月は百二十萬擔の各積取りを豫想されてゐる、因に各製糖會社別の三月中積取りは次の如し

	擔
臺灣	九四八、〇九二
大日本	五七六、六〇〇
明治	七二一、三〇〇
鹽水港	三七三、〇三七
帝國	二一九、一四八
新高	一三五、八五〇
新興	四七、〇〇〇
昭和	九四、七四六
臺東	二一、四六七
源成	一八、六八六

修正通過した臨時利得税の內容
原案より約六十萬圓の減收

第六十七議會に於ける成績は政府提出法律案總計五十五件中、米穀三案をはじめ臨、北洋漁業、肥料稅制改正等重大なる法案十一件が枕を竝べて討死したといふ近來稀に見る不成績であつた

臨時利得稅法は、通過した法案の中に於ける唯一の重要法案であるしかしそれすら政府原案に政友會の手によつて多大の修正がほどこされ、貴族院最後に[illegible]たのである。さて[illegible]臨時利得稅法はどんなものか？

× × ×

便宜上政府の原案から述べてみる十年度の利益十萬圓の會社は昭和五、六兩年度の平均利益五萬圓を差引いた殘り五萬圓から二千圓を除いた四萬八千圓を利得金と見てこれの一割四千八百圓の利得稅を課する、また個人の場合にての個人の營業利益が一萬圓あり當該營業を引いても五千圓の利益があつたとすればこの五千圓から昭和五、六年度の平均利益二千圓を差引いた四千圓から更に二千圓を除いた殘り二千圓に會社と同じく一割の二百圓を利得稅として課稅するといふのであつた、ところが政友會はこれを次の樣に修正した

一、基準年度は昭和五、六年の二年に更に昭和四年を加へて三年とする

一、脱稅防止のため、增資增減の場合の規定を入れる

一、個人、法人同稅率は一割だといふのは不合理だから個人は七分五厘に下げる

一、當分の間施行するといふのを二ケ年と限定する

これによると約二百五、六十萬圓の減收になる。それでは政府の歲入に影響が生ずるから大藏省は困る、賛成し難いといふことで[illegible]に至つた

× × ×

させ度いといふ態度に出て結局

一、基準年度は原案通り五、六の二年

一、增資の脱稅防止規定は削除して政府原案通りとする

一、新に政府原案を修正して法人に限り二千圓の控除を削除し

一、他は政友會修正通りとする

といふ事になつた。そこで衆院案は三派と貴族院、二回に亙る協議の結果左の如き修正案を作り、無事通過さす事になつた、即ち

一、基準年度に貴族院が譲つて政友會修正通り四、五、六の三ケ年とす

一、增資の場合の脱稅防止規定は政友會が譲つて貴族院の主張通り政府原案に復活する

一、個人の稅率は[illegible]

但し利得金額一千圓未滿の會社には課稅しない

一、個人に於ても一萬圓以上の利益のあるものに對しては二千圓の控除は認めない、但し利得金額一千圓未滿のものには會社同樣課稅しない

× × ×

これで漸く最終日の衆院を無事通過した、この修正案によると、政府の歲收入見積額に比して約六十萬圓だけ減少することとなるが、その位は、自然增收がのぞめるだらうといふので大藏省も承入稅[illegible]の手當をすることなく、これに同意したのである

天絹標識の實現は困難
技術的に難問

人絹の[illegible]

を以て之を實施せんとして居たが最近右は技術的に實施不可能であるを判明し目下行惱みの狀態となつて居る、即ち商工省に於て慎重に研究の結果當業者が兩三不成績を致した場合之が取締り監督の方法が頗る困難である事を極めて些少の人絹を交織した絹織物を天たる標識をなし得るか絹常習通の人絹織物と同様に取扱はねばならぬ等種々實施上技術的に困難な問題に逢遇し目下の所一時暗礁に乘り上げた形になつて居る

增加する簡保新契約

遞信省の發表に依れば一月中に於ける簡保新規契約は十四萬六千五百七十九件之が平均保險料は九十五錢一厘平均保險金額百五十四三十錢であるが此の月中に復活を見たるものは六千件失效解約五萬八千七百九十一件で死亡件數は二萬二千八百八十八件保險期滿となつたものが一萬二千二百五十二件である

日本鋼管の合併

【東京六日發】日本鋼管では昭和鋼管を吸收合併することに決定既に假調印を了し今月廿五、六日頃兩社共に臨時株主總會を開催附議する運びとなつた

TRY !! "FREE" BRAND SAFETY RAZOR BLADES
finest qualicy in the world
PRICE: 10 BLADES…¥ .50
100 ……¥ 3.00
特約店募集・見本十枚包郵券州錢送レ
總代理店大阪西區立賣堀南五　桂商會

嘉なかだち
求職一件一圓
其他一同
匠名倍

外交員　本島人有力者の市內有力會社名在社高給採用

小店員　入用內地人高小卒本人來談　本町五丁目　株式會社

賣家　新北投驛附近料理屋旅館　電話七一九

讓店　酒類煙草雜貨菓子文房具日用雜貨內地引揚に付急讓　城內信用組合前

貸家　建成町二ノ三四　[illegible]

探偵　資產信用　雇人身元　家出人搜査等　[illegible]

スナツプ廣告寫眞懸賞募集
締切延期（四月二十日迄）（材料大きさ制限なし）

全國十大商品

大阪電報通信社主催、本社後援の第一回スナツプ廣告寫眞懸賞は〆切期日の切迫と共に折柄本廢技を三月末日限り〆切ることは誠にカメラマンの遺憾とするところなるを想ひここに本廢技〆切を四月二十日迄延期にし以てカメラ同好諸子の御期待に添ひ、識者の製作興味に牽仕することと致しました。希くば一層奮勵の上御應募あらんことを！

▼課題

一、メンソレータム（近江セールズ株式會社）

一、ロ[illegible]肝油、ハリバ（田辺元三郎商店）

一、クラブ白粉クラブ歯磨、クラブ美身クリーム（中山太陽堂）

右の中何れかを主題とする事

一、ロート目藥（山田安民藥房）

一、ネオブルトーゼ（藤澤友吉商店）

一、ライオン歯磨、ライオン齒刷子（小林商店）

右の中何れかを主題とする事

一、わかもと（發賣と育兒の會）

一、アイフ（順和商會）

右の中何れかを主題とする事

一、レート白粉 レートフード レートクリーム レートメリー レート白粉 レートクレーム（平尾賛平商店）

右の中何れかを主題とする事

一、仁丹の類品各種 仁丹の體溫計 仁丹の小容器 仁丹石鹸（森下博營業所）

右の中何れかを主題とする事（イロハ順）

▼募集規定

一、締切　四月二十日

一、宛名　大阪市北區中之島二丁目　大阪電報通信社　スナツプ廣告寫眞係

一、材料大きさ制限なし

一、一人にて各商品に應募することを得

一、賞金賞品は發表後二週間內に贈呈す（應募寫眞は返却せず）

一、應募者氏名の上に本社宛名記入の事

▼賞品

特選　一、金二百圓也　大阪電報通信社賞　一名（但しオリエンタル寫眞會社賞）オリエンタルの材料に依る應募者

當選　一、金五十圓宛　大阪電報通信社賞　九名（各商品につき一名を除く）（但し特選者一名を除く）オリエンタル寫眞會社賞（但しオリエンタルの材料に依る應募者）

次選　一、金二十圓宛　臺灣日日新報社賞（各商品につき三名宛）三十名　オリエンタル寫眞會社賞（但しオリエンタルの材料に依る應募者）

▼發表

一、入選者氏名は四月下旬本紙上に發表す

一、臺灣日日新報社主催にて展覽會を催す

一、大阪電報通信社に於てスナツプ廣告畫集を出版す

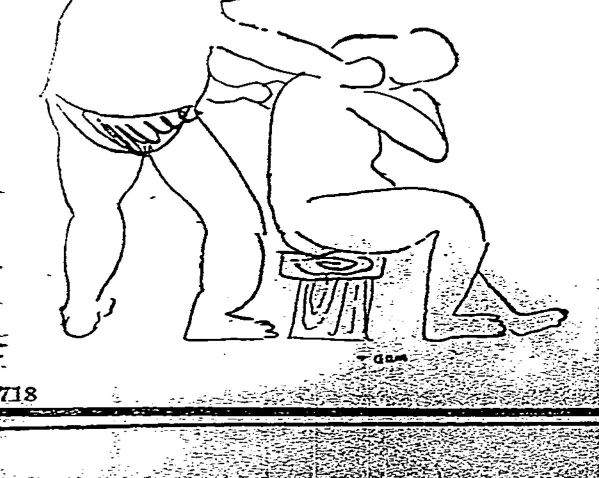
▼審查

關西に於ける商業美術、美術寫眞界の權威者並參加各商店廣告部長を審查委員に推薦し審查す

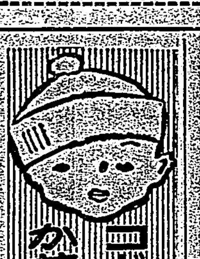
主催　大阪電報通信社

後援　臺灣日日新報社

スナツプ廣告寫眞[illegible]



タバコのみの
歯磨スモカ
スモカで磨き上げたやうなお歯！と褒められても決して夫れが皮肉と聞へぬ歯でましい
壽屋化粧品　壽店ニアリ　定價十五錢
718


コドモの かぜねつに
オイン

美味滋養
純良白葡萄酒
白玉ホワイトワイン
絕對に着色せず
元造　江井ヶ島酒造株式會社　兵庫縣

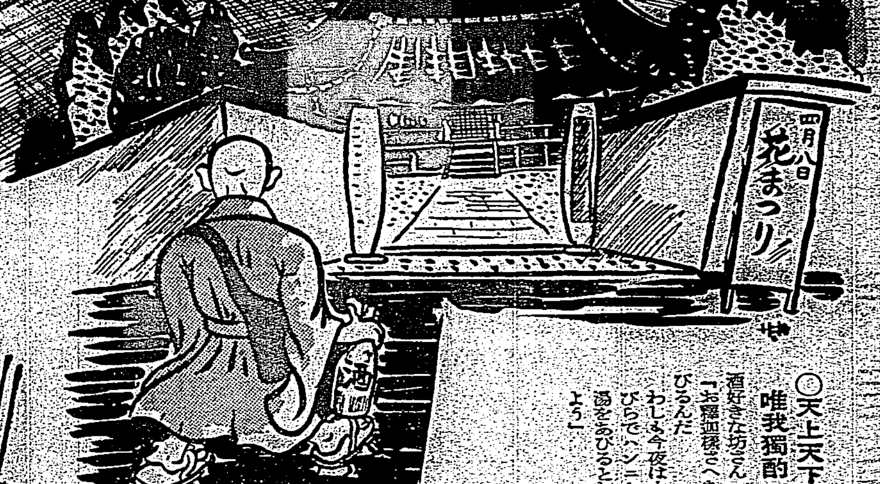
何日迄も舊套を追ふ時ではありません、葡萄酒は白ブドーの時代になりました文化の進むにつれて皆樣が純眞なフランス生粋の葡萄の香りと風味とを御存じのお方樣は、特に白玉ホワイトワインを御選定になります。

專賣特許
病花柳
蒸みず痛まず・安全に豫防
豫防藥レーロー（明記配合藥）
定價一個入金拾錢
要御用は著名藥店にあり、又發賣に品切の節は本舖より直送（送料不要）郵券代用三圓までよろし
發賣元・合資會社東京藥理社　發賣元・東京兩國ミツワ石鹼本舖　丸見屋商店・藥品部

靴を大切にする
コスモス靴クリーム
代理店　台北市大和町四　野河商店
本舖　東京大阪　新藤商店

マンガのページ

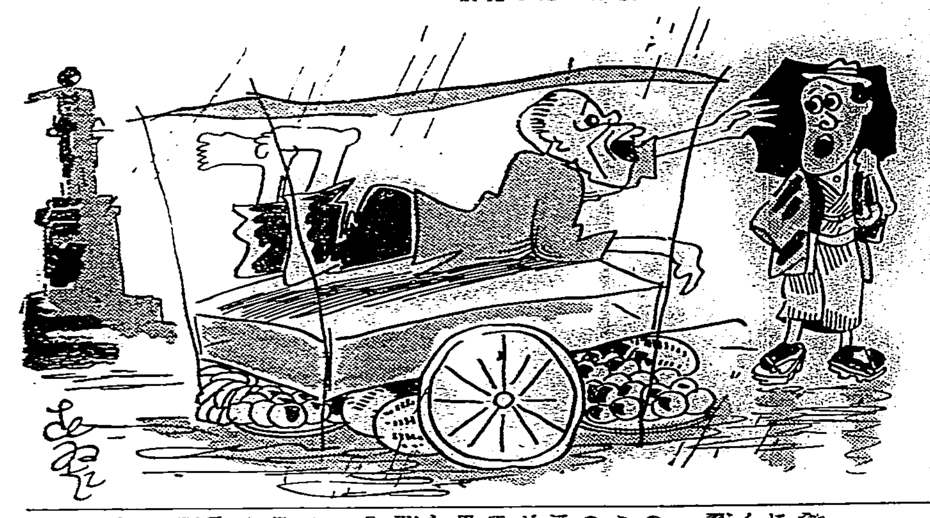
野村幸一（編）



○天上天下唯我獨酌
酒好きな坊さん
「お釋迦樣さへあびるんだ わしも今夜は大びらでハンニャ湯をあびるとしよう」

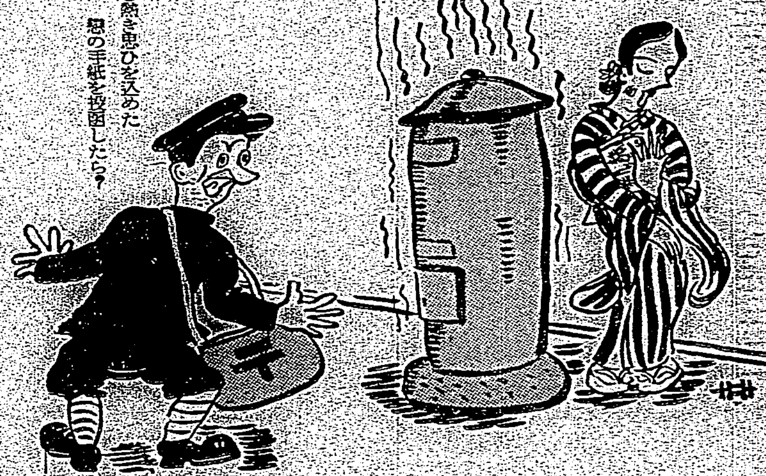
○競馬場餘聞
「君三番の馬勝つたかい」
「さうぢやないよあそこの娘子が素敵なシャンでね」

○金持のハイキング
自家用自動車が御供してゐました
「そろ〳〵くたびれた車に乘るかな」

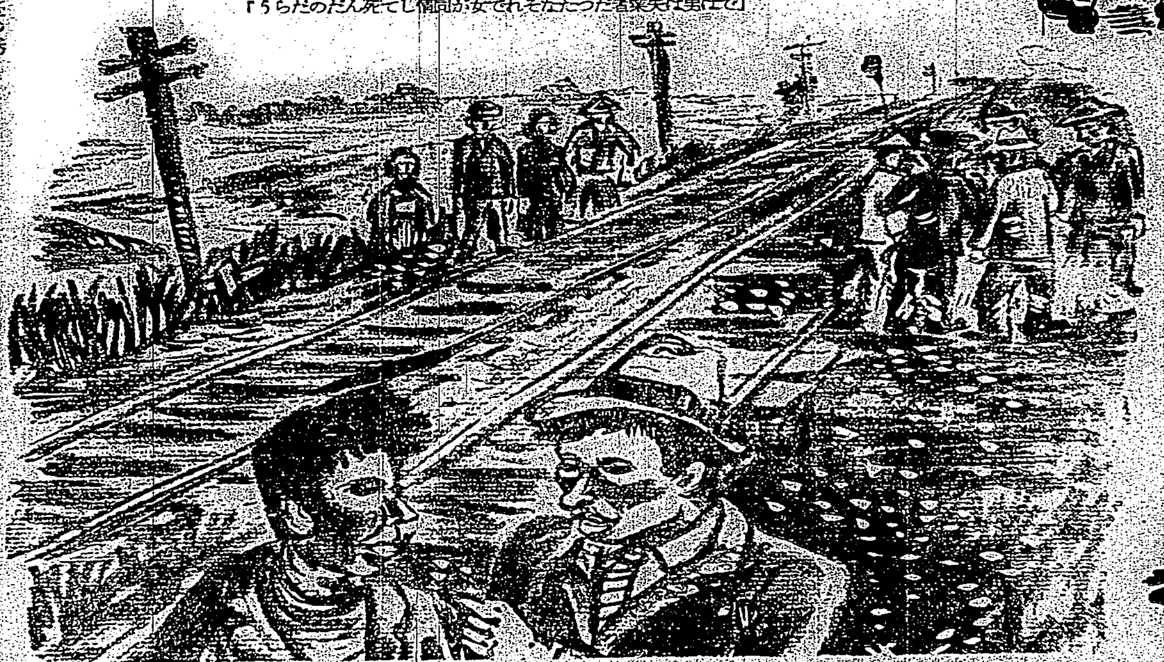


○チヤツカリしてる果物屋
俄雨で此の光景

○高女卒の娘さんが
お裁縫の稽古に行つてます
ネー小母さん妾少し豫備知識を頭にいれてから運針にとりかかるわ



○熱き思ひを込めた
戀の手紙を投函したら？



○鐵路の或る情死事件の推理
「男の道かないさうだ」
「ては男は失策者だつたなそれで女が同情して死んだのだらう」

○女とみたら結婚申込たがる男
つひにこの地獄までになつたデス

心慮虞散（33）

歸臺の卷

岡島　水馬

雨しぶる日香港に暇を告げて臺灣歸還の道に踵は向く。今更夕靄に朦朧たる島港を掻き消しつつゆく。旅の哀愁を覺ゆるものがあつた。翌朝汕頭に停船し夕刻更に廈門へと船は無關心に規定通りに規定のコースを乘り波を蹴つて進む。この時デッキに異樣な酒宴の樽の如きものの積込まれた樽中に滿ちた水を元へその上に一本の丸棒がさし渡され、兩端の木棧が二ヶ所縛りつけてある。それを一人の男が約一時間交代に調立に尻を坐えてペチヤガチヤンこの水を掻き廻してて停止せぬことだ勿論晝夜無行廝くして臺灣へ待つて行くといふこの水中には草魚の子がいれてあるのだ臺灣とはいひながらこ[illegible]

權威ある技術者は多年ボッシユ製品を採用し來り優秀にして經濟的なる利益を享受せられた。然して現在ボッシユの模造品はボッシユ製品と同等の利益を與へつつありや？「優秀なる機關は常に優秀なる電氣裝置と共に在り」優秀なる電氣裝置即ボッシユ製品の御愛用を乞ふ。

日本總代理店　イリス商會
一手販賣店　柳生商店
[illegible]
東京市赤坂區溜池町一五
イリス商會
ボッシユ部

ボッシユ・サービス・ステーション
東京　神戸　名古屋
福岡　靜岡　京城
臺北　大連　奉天

低廉な費用で手輕に自宅で出來る
鼻病全快體驗錄
（四六版八十餘頁最新裝）

難症に惱む人々の一大福音

無代進呈　一名一冊限り此新聞名記入申込み次第進呈す

鼻汁の出る人、鼻の詰る人、物の香の分らぬ人、年中頭痛する人は、一讀を乞ふ

あらゆる療法を試みて思はしくなかつた多年の鼻の病の難症が極めて簡單に治つた體驗錄です。手術を何回もやつて思はしくなかつたもの、不治とまで思はれてゐた頑固のもの等が頗る手輕に簡單な方法で治つた實例が山の如く滿載されてゐます。治病の根本は療法の選擇一つです。療法さへ其當を得れば金もかゝらず又多くの手數をかける必要もなく病氣は治る譯です。本書を御一讀下されば皆樣の鼻の病氣には何んな療法が一番好いか、直ぐ選定出來て多年の難症も容易に治癒に導くことが出來ます。是非御一讀下さい。

申込所　東京市麴町區元園町一ノ五一　明光社

資生堂石鹼
質よく・匂よく・泡立ちよし
東京　資生堂

白毛を染めずに黒くする
白毛赤毛の病弱たる毛根の發育を促進し色素を增殖して黒髮となす新發明藥あり ハガキに新聞名記入申込次第說明書呈す
東京市中野區城山町　清水研究所

井戸端會議の人氣者
福助足袋

受驗生募集
英數學館
[illegible]

自動車運轉手技術者試驗の最高權威◎實習本位◎通信教授あり
東洋一の理想的設備を見よ　ハガキで申込次第規則案內書呈
東京蒲田　日本自動車學校

天使 (38)

橫光利一

宮田重雄畫

四の十七

今は、幹雄も、もう冗談所ではなくなつたやうであつた。どんなに野鄙な貞子でも、そのうちに自分の愛情には動き上るものとばかり、思つてゐたのも、それもこちらの思ひ違ひだと、幹雄には分つて來た。

彼は貞子の傍から放れて、ひとり森を抜け、病院の方へ歸つて來たが、胸は早鐘を打つやうに亂れつづけた。

彼は唇を喰ひしばり、興奮のために、青くなつてゐた。彼はもうどこを歩いてゐるか分らぬやうに、木の切株や、石ころに躓いて、ときどきよろけながら、畠の細い道に出た。打ち砕かれた自尊心が、絶望に變つて來た。すると、ふと彼は、麥畑の眞中に、一人突き立つてゐる自分に氣がついた。胸は興奮に顫へるひがした。

「待てよ。これや、俺は悲しんでゐるぞ。うむ、さうだ、俺は、たうとう捨てられたのだ。」

彼はにやにやと笑つた。が、すぐまた、眞つ青になつたまま、きよろきよろとあたりを、見廻した。

「うむ、捨てられたのか。いい氣味さ。」

ぶつぶつひとり呟きながら、また森の中へ出ると、木の根に足をとられて、どうと倒れた。その拍子に、したたか強く横腹を打つた。が、もう起き上るのか、面倒になつて來た。

「えーい、どうとでも、なれ。」

と幹雄は思つた。彼は草の上へふんぞり返つたまま、起き上らうとしなかつた。青空は、一枚の板のやうに、やくざに見えて來た。何か今、ぶん毆るものでもあれば思ふ存分毆られたくさへなるのであつた。

「ああ、俺は、理性を失つたぞ。いや、そんなもの、飛んでしまへ。」

すると、彼の心は、急に平靜になつて來た。すると、今まで氣付かなかつた空が、何ものよりも美しく見えて來た。

「ああ、あんなに、俺はなれぬものか。」

と彼は思つた……

また部屋の吉沢か、胸の中で、暴ばれ廻つた。幹雄は飛び起きると、せかせかと歩いた。

「俺は何せ歩いてゐるんだらう。どこへ行かうと、思つてるんだらう。」

しかし、彼は、やはり歩き廻つた。さうして、いつの間にか、病院の庭へ降り、廊下を足早やに突きぬけて、自分の部屋へ飛び込んだ。

すると、部屋の中に、佐山が一人、まだ歸らずに、ぼんやり椅子に腰を降ろして待つてゐた。

幹雄は默つて、ベツドの中へもぐり込んだ。

「おい、明石や雪子さん、どこへ行つたんだ?」

と佐山は訊ねた。幹雄は默つてゐた。

「もう一時間も待つてゐるんだよ、人ほつたらかして、ひどいぢやないか。」

幹雄は、不意に起き上つた。さうして、默つたまま、佐山の顔をぢつと見詰めてみてから、

「はははははは。」

と笑ひ出した。佐山は、きよとんとした顔をして、幹雄を見てゐたが、だんだん青くなると、

「馬鹿にするな。」

と怒鳴りつけた。

「馬鹿さ。」

と幹雄は云つた。佐山は幹雄の上へ飛びかかつた。

ラヂオ

午前の部

【六・三〇】朝の體操・ラヂオ體操　今日の天氣のお知らせ―臺北觀測所發表

【七・三〇】全國氣象通報(東京)

【八・〇〇】家庭メモ

【九・三〇】週間お惣菜獻立(臺北)

【一〇・一〇】家庭料理獻立(臺北)第三高女田中壽榮△清汁、漉器豆腐とほうれん草△鰆(サハラ)の木の芽田楽△ほうれん草の落花生和へ

【一一・〇〇】臺北市公設市場……

午後の部

市西市場發表

【一二・五九】正午の時報、氣象通報(臺北のみ)

【〇・〇一】放送局編輯ニュース

【〇・一〇】晝間娯楽時間　レコード演奏　ヴァイオリン獨奏―ラ・パロマ(イラディエール作曲)二、歌劇「カヴァレリア・ルスチカーナ」間奏曲(マスカーニ作曲)……

【〇・五〇】經濟市況に引續いて内臺定期船入港時刻と豫報、列車時刻のお知らせ―鐵道部運輸課發表

【一・〇〇】氣象通報(臺南のみ)

【一・四〇】全國氣象通報(東京)

夜間の部

【五・〇〇】子供の時間(東京)讃佛歌　大正大學日曜學校生徒……

【五・二五】英語講座(臺北)初等科第二講(此の時間のテキストは一部二十錢)上村一仁

【五・五五】カレント・トピックス(東京)

【六・〇〇】子供の時間(臺北のみ)レコード演奏……

【六・三〇】青年の夕(東京)講演「青年に告ぐ」牧野良三……

【七・三〇】歌謡曲(大阪)……

雑誌紹介

▲デッサン(四月號)　旭正秀氏の主宰する四六倍判の清楚な美術雑誌で、川口軌外、津田青楓、川島理一郎、前川千帆、佐分眞、猪熊弦一郎諸氏の素描・水墨・版畫作品及び英文日本美術だより(税所篤二)承徳の旅から(川島理一郎)湖森海について(前川千帆)獨立美術展(松本弘二)等を收めてゐる(定價三十五錢　東京市蒲田區蓮沼町二四其社)

▲電氣之友(四月號)　電氣に關する專門的な有益な記事を多數の挿畫入で満載してゐる(定價四十錢　東京市京橋區銀座八ノ一電友ビル其社)

▲刀劍と歴史(一八七號)　刀劍に關する研究記事を收録し、附錄として古今刀劍大鑑の一部を券末に添附してゐる(定價五十錢　東京市澁谷區若木町一羽澤文庫)

▲謠曲界報(四月號)　婦丸の謠ひ方仕舞型、謠曲等をはじめとし能樂に關する記事を收めた月刊誌(定價二十錢　東京市四谷區大番町二四其社)

▲旅行とサービス(四月號)　神詣うで、お寺参り、温泉案内や旅にちなむお話などを收めてゐる(定價十錢名古屋市……其社)

▲有害昆蟲(四月號)　……水田の害蟲防除……等を收めてゐる

▲東洋(四月號)　……等の各方面の現状……に關する記事を満載してゐる(定價五十錢　東京市麹町區内幸町一ノ二東洋社)

普通圖書

臺灣總督府圖書館(四月六日新着)

警察概況　臺灣總督府警務局
現代人の修養と教育　春山作樹
老子講話　小柳司氣太
歴史教育論　新見吉治
山海經　川田順
鳴雪俳句研究　武田鶯塘
浮世風呂解註　出口米吉
プチ・ブルジョア　佛ルザック著　原澤光治良譯
助詞と助動詞の研究　大塚悦三
日本とロシア　平岡雅英
江戸と大阪　幸田成友
滿洲國と門戸開放問題　英修道
國家と階級　高田保馬
日本家族制度批判　玉城肇
生物と人生　加藤元一
常識としての生理學　新内附
杉山茂丸　杉山大泉軒先生追頌會
日本美術史讀本　黒田明信
レコード音樂名曲を尋ねて　神保璟一郎
中華民國　東亞同文會研究編纂部

家庭醫學

居睡りする人の多くは白米中毒です

近頃喧しい白米毒の正體とその豫防法

一體、吾々が食物を攝るのは身體の生理機能に必要な榮養素を攝取する爲で、その榮養素とは含水炭素、蛋白、脂肪、無機物、ビタミン類の五種に大別されますが、わが國民の

主食とする白米は、昔は玄米か糟米の程度の少かつたもので今日のやうに精白したのでは甚だ榮養素に乏しい不具的食品で、カロリーの源泉となる含水炭素を含むだけで、身體に最も必要な他の有機物、無機物及びビタミン類等は殆ど含有してゐません。殊に、ビタミンBの不足から種々の病氣を惹起します。

例へば、種々の胃腸病、食慾不振がビタミンBの不足によることが多く、結核に對する抵抗力を弱めて、發病を促す場合もあります。又は血液の成分、作用が圓滑を缺くため、諸器官の機能が不完全になり、老廢物は體内に蓄積され、早老、老死など、不知不識のうちにわが國民の

體質を低下せしめつつあるのでありますが、而も、更なる恐るべき毒素をさへ含んで、從來ビタミンBの缺乏より起るといはれた白米病も、むしろその毒素による中毒だともいはれ、その正體が何であるか、判然掴めないながらも、この毒素をめぐつて、久しくわが榮養學界の論爭の種となり、多くの學者によつて研究が續けられて來たのであります。

處が、漸く最近に到り、この毒素の正體が、理化學研究所の岩田元兄博士によつて發見され、リゾレシチンと名づけられましたが、これは血液を破壊する恐るべき毒素を持ち、金魚などですと、その水中に百分の一のリゾレシチンがあつても、一時間位で死に至るといはれ、また鳥類が白米病に罹ると、緑炎が出ますが、これは血球が分解されて、色素が還元されて外に出るからだと、いはれてゐます。

國民　恐らくは、わが國民に結核とか胃腸病、脚氣等の病氣が多く體質が低下しつつある事實も、白米の榮養缺陷ばかりでなく、このリゾレシチンの影響も大いに關係あることでありませう。然るに、この強烈な毒素が吾々人體に作用しないのは、

この毒素を中和、分解する酵素の一種レシターゼBが吾々の胃腸に存在してゐる爲だらうと、いはれてゐるのですが、然し、一般新陳代謝機能の衰へ、特に消化器病や結核時の全身衰弱の時の如きは、體力の回復を計ると同時に、少くとも白米を常食する限りはレシターゼBを補給して、リゾレシチンの毒素を防ぐ必要があります。

それには、レシターゼBを豐富に含む「錠劑わかもと」の如き純正ヘーフェ顆劑を服用するが何よりですが、殊に「錠劑わかもと」には、レシターゼBの外にも、その他十数種の酵素を含み、更に代謝機能や胃腸機能の働きを旺盛ならしめる治病的効果を持つのみならず、白米に

不足せる榮養素―ビタミンBをはじめ、A・D・Eおよび脂肪、蛋白、アミノ酸、グリコーゲンといふ様な優秀な榮養素をも含有してゐますので、榮養の缺陷を防ぎ、抵抗力を増進する上に、肝臓グリコーゲンの含有率を昂めますので、體内の毒素を解毒する働きも旺盛になります。

消化不良によい料理　白魚の茶碗蒸

材料　白魚五十匁、小蕪六ツ、鶏卵一個、醤油、砂糖、煮出汁二合、味の素、淺草海苔、「錠劑わかもと」四錠

料理　白魚は薄い鹽水でざつと洗つて水を切つておく。蕪は皮をむき、四ツ切り位にして、少量の鹽を加へた熱湯に茹でておく。そして丼に鶏卵を割つて入れよく溶して、そこへ煮出汁と小匙一杯の砂糖を入れ、鹽と醤油と味の素で味を調へ「錠劑わかもと」四錠を溶して漉し入れてから、蒸茶碗の中へ前の白魚と蕪を入れ、その中に玉子汁を加へ、蒸器に納め、約十五分間位蒸してから取り出し、揉み海苔をふりかけて與へます。

疲勞の原因とその防止法

人間は毎日ある餘裕を持つて生活しなければ、今日も精一ぱい、明日も精一ぱいの生活を續けたのでは、病氣になるより外に途はない―とは、醫學博士戸田正三先生が、その健康法で述べられた言葉ですが、實際今日の疲勞が翌日まで持越される様な生活では、活動力は殺がれ、仕事の能率は低下するは勿論、その疲勞が積り積つて老衰を早め危險症に陥る事も珍しくないのであります。

が、それかといつて、複雜な近代社會に於ては、疲勞せぬ程度の安楽な生活を許される人は極めて少數で、むしろ生活上疲勞は當然の現象ともいへますが、然し、注意次第ではその豫防が決して不可能ではありません。

この疲勞といふ現象を一口に説明しますと、これは人體の新陳代謝のバランスが狂つて、精力が消耗されたもので

新陳代謝といふのは、體内の榮養分が、呼吸で吸入された酸素のために、炭酸ガス、水、アンモニア、水素等に分解され、呼吸や汗や尿等によつて、體外へ排泄される作用であり、また、その消耗を補ふために、食物から攝つた榮養分を體内組織に同化させる作用等の總稱で、主として食物中の含水炭素が分解したグリコーゲンが原動力となつて成されるのです。

故に、身體を甚しく使へば使ふ程、新陳代謝作用が旺盛し、體内に含水炭素が消費されますが、これは肉體的な勞働に限らず精神的の勞働の時でも同様で、マイヤン博士の實驗によりますと、頭腦の勞働時は、休養時の二倍以上も、グリコーゲンが消耗されるといはれて居ります。

處が、このグリコーゲンが含水炭素から分解して、新陳代謝に利用される爲には、ビタミンBの力を借りねばならぬ事が、最近の研究で判りました。即ち、勞働時の精力が續かず、疲勞し易いのは結局ビタミンBが不足する爲だとも見られる譯で、この意味から、勞働精力を昂進し、疲勞を未然に防ぐためには、新陳代謝の源泉たるグリコーゲンと共にビタミンBを補給し、且つ食慾、消化を昂めて、一般食物の榮養をよりよく利用することが何よりですが、それには「錠劑わかもと」をお奨めします。

榮養と育兒の會は我國民の健康增進と、乳幼兒死亡率の減少を目的に設立せられ、其附帶事業の一として世界的に名高い「錠劑わかもと」を一般に廉價に、即ち二十五日分一圓六十錢、八十三日分五圓で頒布され全國の藥店で取次いで居りますが、由來有名な藥に類似藥の續出するのは免れぬ所、殊に「錠劑わかもと」は取次口錢が少なきため、利益のみ追ふ藥店では、まま效果に大差なしとて他の類似藥を勸めますから御注意あれ。外觀や名稱が似てゐても、製法、成分、微生物活性酵素等特許の「錠劑わかもと」は絶對に他で眞似ることは出來ません。「榮養と育兒の會」の所在は東京市芝公園大門(振替口座東京一七〇〇番)

療養體驗　食慾がつき神經衰弱輕快

(熊本縣)戸川徹三

私は二十六歳の若者ですが、幼年時代から胃腸の弱かつた事を記憶してゐる(中略)。人並の食物を取れば、きつと腹が痛かつた、吐く、下す、胃腸の弱くて平生な目にあつた事も何回か知れない。

然し、中學時代は不健康ながらどうやら、かうやら過したが、家事に就くやうになつてから、自由が過ぎて不規律な生活に陥り、胃腸を益々害し、これに原因してか、頭までボンヤリになり、氣が晴れなくなり、物事には、すぐ倦きするといふ具合……

下痢があるといふ状態で、不快な日を送々と過ごす様になつた。勿論、この間には相當養生もしたつもりだが、然し養效した程の效果は得なかつた。處が、「錠劑わかもと」の廣告に(中略)早速求めて服用して見ると……けてゐるうちに、今迄になかつた食慾がつき、……

大門高速度濾過機

工業用と浴場用　陸海軍御用　代理店募集

千人入浴の風呂も朝湯同様に清澄　其他大量水處理、工業用……

東京芝公園大門際　大門製作所　電話芝(43)二七一二番

面膚髮之

◎ミツワ石鹸

純正雪文、以酒精溶解至透明、因無遊離脂肪、故不涸濁、又因無混雜物、故不見沈留渣滓。再用「フエノールフタレイン」(回晝見付大證印)細驗其遊離亞爾加里時、仍毫無反應者、正所謂純正雪文也、我國人皮膚粗澁、皮脂分泌量亦多、尤尙黑漆毛髮之風者、當其洗滌用何雪文、切不可止因化學上謂純正雪文、立斷其適否耳。

◎ミツワ石鹸

不唯稱謂化學上純正雪文、尙具備有左列諸性狀。

一、確有溫雅芳香。

一、能生出極細泡沫、作用穩和、於洗滌時決不留殘雪文底碎。

一、含有適度溶解性、浸水易解、而無中途溶崩之慮。

實於各家庭、浴室用、化粧用、俱合我國人用以洗滌皮膚毛髮等、最宜衛生、眞可節省之理想的實用品也

◎ミツワ石鹸有德用大形　三塊匣、六塊匣、一打匣三種

◎ミツワ石鹸　欲圖品質愈佳不遺餘力日夜沒頭於科學的研究諸技術家主要各位
醫學博士　小平　勳氏
藥學博士　河村　正氏
農學博士　三澤大郎氏
工學博士　野中正夫氏

(現品寫眞圖)

サーワ白粉
トモヱ石鹸
ミツワ家庭藥
ミツワ煉歯磨
ミツワ椿油
肝油ドロップス
ミツワホワイトスヰートワイン
ミツワレッドスヰートワイン

發賣元　◎登錄商號　丸見屋商店
東京・兩國
藥劑・滋養料・石鹸・香粧品・小間物問屋
電話浪花(67)代表番號二二二一―七番
振替口座東京七一〇番

對台灣各處均以格外勉強從命敢祈直向敝商行賜顧訂購爲荷

張　合名會社　德昌商行
臺北市入船町一丁目
電話一一三九番　一一六五番　四五五五番

奉迎

滿洲國皇帝陛下御來訪

婦人良藥

中將湯

擧國歡喜！

われらは
健康の盃を擧げて
歡喜慶祝いたしませう

人の和は樂土の要訣
中將湯の服用は健康の基！

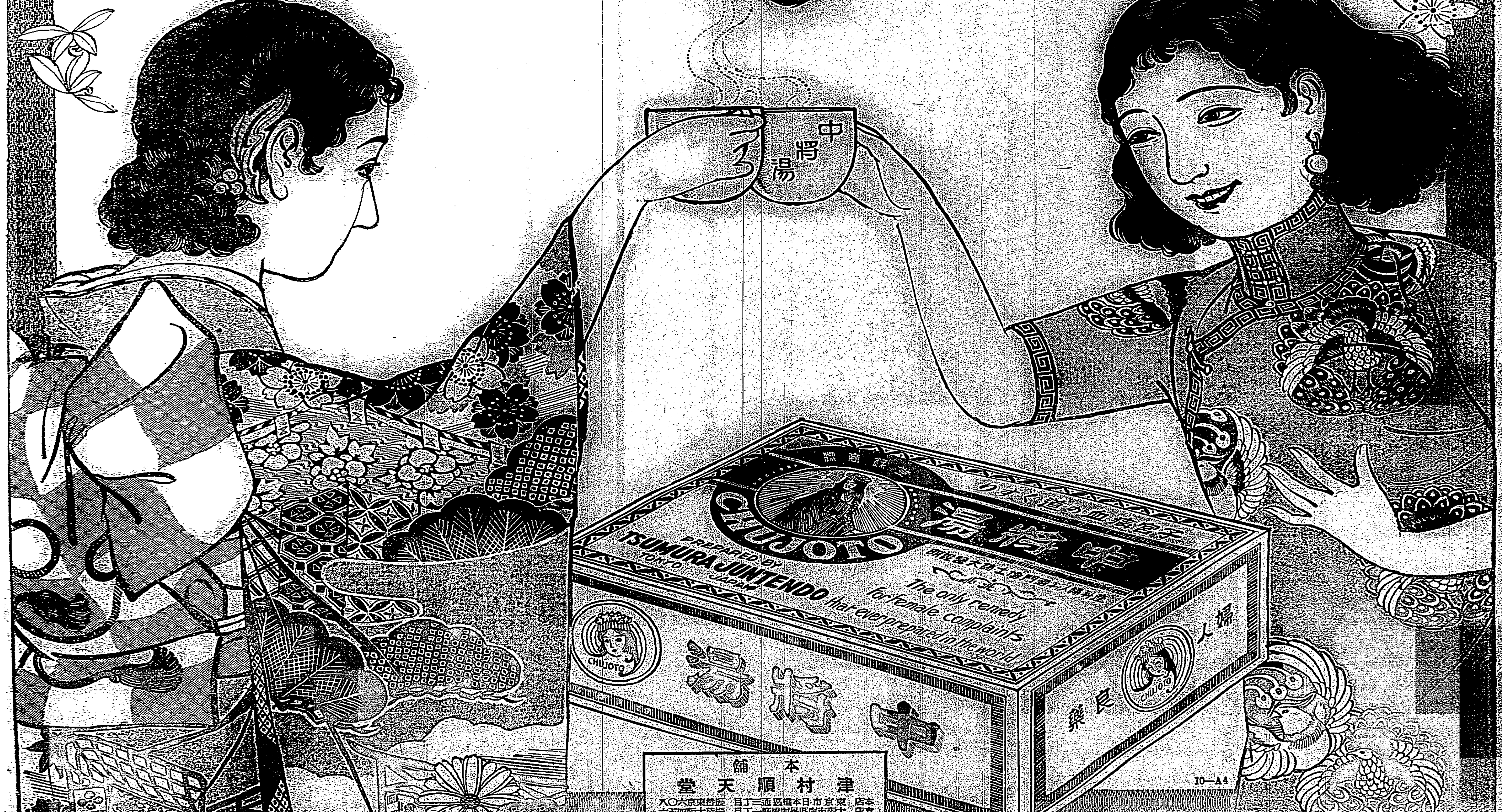
麗かな陽春の光を浴びて大地もなごやかに微笑む時、人體の凡ゆる機能も亦俄然旺盛になつて參りますが、潜伏性又は慢性の婦人諸疾患が、急激な活動を起し進行性に變化するのも同じく、この時です。多くの御婦人方が訴へる頭痛や眩暈や倦怠感などは、潜んでゐた婦人病が再び活動を始めた合圖の烽火と思へば間違ひはありません。

斯ういふ時期に素早く病氣の出鼻を挫いておきませんと、病勢は惡化して取返しのつかぬ大事を惹起します、この期を外さず治療に信用ある中將湯を召上れ

CHUJOTO

主効
のぼせ 頭痛眩暈
下腹痛み 腰足冷込
月經不順 子宮病
ヒステリー（血の道）
こしけ 神經衰弱
肩の凝 寸白感冒
産前産後 浮腫惡阻

定價		
試用分	￥	.20
3日分	￥	.50
7日分	￥	1.00
15日分	￥	2.00
23日分	￥	3.00
40日分	￥	5.00
80日分	￥	10.00



本舗
津村順天堂
本店 東京市日本橋區通三丁目 振替東京六〇六
支店 大阪市南區長堀橋筋一丁目 振替大阪四五六

10—A4

機關說の博士 檢事局に召喚さる

問題の著書數册を携行して 七日早朝自邸を出づ

【東京七日發】天皇機關說を繞り天下の注目を一身に集めつつある美濃部博士は小石川區竹早町の自邸に引籠り屋敷の内外を警官に警戒され外出も力めて避けてゐたが東京地方檢事局の召喚に應じ七日午前七時二十五分該檢事局を訪ね... の他問題の自著數册を携へ自邸を出で同三十六分指定の場所裁判所構内刑務協會に出頭した、一方檢事局では既に岩村檢事正以下思想部檢事總動員で博士の學說の檢討を行ひ取調べの準備全く成り博士の說明を聽取して最後の處置決定を待つばかりとなつてゐたので安部次席檢事、戸澤部長檢事以下日曜日にも拘らず早朝より登廳刑務協會樓上一室で戸澤檢事が取調べを開始したが取調べと云つても元より參考的なもので至つて和かなものである

東大名譽教授法學博士勅選議員美濃部達吉氏は六日午前檢事局を通じて東京地方裁判所檢事局岩村檢事正の招請に接し日曜にも拘らず七日午前七時二十五分小石川區竹早町一二四の自邸を門より自家用自動車で和服姿に非常な元氣さを見せ宮坂警部等主任外刑事二名に護られ同三十五分東京地方裁判所檢事局に出頭し、司法省構内刑務...

思想表現法が 直線的で拙い

訂正するに吝でないと 博士も我を折る

【東京七日發】美濃部達吉博士は七日檢事局出頭に先立ち次の如く心境を語つてゐるので政府は博士の出頭に依つて機關說も大體落着を見るものと期待してゐる

政府は私の著書の中で誤解を受け易い字句等について訂正を求められるならばこの政府の意向に從ふ事に對して吝でない事は自分も思想の表現が餘りに直線的であつたり又云ひ足らなかつた爲に世間の誤解を招いた點がある事を感じて書き改めやうと思つてゐるケ所もあるのである天皇機關說と云ふ言葉は世間が作つたのであるから自分は去る議會に於ても特に所謂機關說と斷つて置いたのである私の用ひてゐる最高機關と云ふ意味に對する非難は私の說明が足りない爲に生じた全くの誤解に基くものと思ふ

開陳し更に江藤源九郎代議士から不敬罪として告發された問題の人...

博士の陳述に 檢察當局滿足す

取調は午後二時一日終る

【東京七日發】七日午前東京地方裁判所檢事局に出頭した問題の人美濃部博士の取調べは午後二時一旦終つて戸澤、太田兩檢事は岩村檢事正を訪ひ其の結果を報告し今後の取調べに對する協議を爲す事となつたが、美濃部博士の陳述は頗る檢察當局を滿足させたものの如く取調べは比較的に聽取書を執つた程度の模様である

國軍は斷乎 謬說を排す

眞崎總監全軍に訓示

【東京七日發】眞崎教育總監は天皇機關說問題が我が國體觀念の上から軍隊の教育に及ぼす影響の重大なるに鑑み全國軍隊に訓示を發する事につき三長官の間に協議を重ねてゐたが、六日午後教育總監部における師團長會議で訓示すると共に同日全軍に對し訓示を發した、その内容は相當長文のものであるが要旨は次の如きものである

最近我が國體觀念に關し世上種々誤れる言說が行はれてゐるが、斯る謬說は我が國體觀念上絕對に相容れざる言說であるから軍人たるものは斯る言說に誤られず軍務に益々精勵して我が崇高無比なる我が國體の明徵を期すべし

檢事の追究で 博士も飜意

徹底的是正を誓ふ

【東京七日發】七日朝美濃部博士は片倉檢事の取調べを受け

一、天皇機關說

二、詔勅批判論

三、國務大臣の責任論と制限論

等が單なる用語上の不穩當なる點あるのみならずその解釋に基く思想にも不穩なる點ありと檢事から追究があつたが、博士は天皇陛下の大權事項が一つの機關說としたのではなく、學界は何時とはなしに天皇機關說なる用語が出來て仕舞つたので不用意にその術語を使用したまでであると弁解し、詔勅批判論なども戊申詔書や教育勅語を批判して宜しいと說いたのではなく國務に對する詔勅即ち法律、命令等は批判しても差支へないと言つたまでで右の二項は自分としては不穩當とする點若くは穩當を欠ける點ありといふなら徹底的に是正するに吝でないと述べ、國務大臣の責任論、制限論も不穩なる箇所の訂正を斷定した模様である

和服姿で 出頭

午後も續行

【東京七日發】天皇機關說問題に...

臺北の花祭り

市中の行列（上）西本願寺に於ける灌佛式（下）

增船計畫までには 相當の時期がある

大連汽船の川村常務談

山西丸入港

【基隆電話】大連汽船山西丸は六日午後十時基隆港外着、七日未明檢疫をうけて内港に入つたが、同船は同航路が督府の定期命令航路となつてより始めての入港である同船に大連汽船常務川村龍雄、同社會計課長高崎太平、國際運輸組常務野木定吉同社臺灣派遣員代理西原忠郎の四氏が來臺したが大連汽船川村常務は一同を代表して左の如く語つた

私の社の本航路が今回督府より定期命令航路に指定されましたので、その御挨拶に參つた譯で私は臺灣は全く始めてなのでその序でにずつと南部の方迄廻つて各方面を視察致します私の方と郵商二社との航路協定は御承知の通りですがこの協定によつて私の方の貨物に增減がある譯のものでありません、それに年々滿洲への青果の輸入增加しなほ奧地への進出によつて更に一層增加の見込です、然し今の所之の船でぎりぎりで一杯と云ふ譯ではないので增船計畫する迄には未だ相當の時期がありませうし各社の優秀船配船は當然の事でこれからの運航船はどうしても優秀船でなければなりません

例祭日には 遙拜をなす

兩教諭が辯明

基隆郡下の二學校で... 戸澤思想部第一部長から午後に至つて... 右の二著で使用してゐる不穩當な字句に對する辯明、現在同博士の抱懷してゐる國體觀念及び著書の絕版又は改訂に關する博士の意向等に就き詳細に聽取された、而して檢察當局は此の結果に依つて最後の斷案を下す事となつた

基隆問題で世間の注意をひいた淡水中學では文教局の教育令改正の趣旨が充分に理解されたので進んで同中學校の學則を改正し第二章式日の規定として「例祭日に神社參拜」... 日には職員生徒學校に參集し... 遙拜をなす」と改めた... 同校の教育方針をも教育勅語を基調とし現行の教育制度を基礎として國民性の涵養に力める事で此の點に對する世間の誤解を解かれたいと語つた

全員無事

第二北國丸歸る

【長崎七日發】... 第二北國丸はその後佐世保鎭守府その他に... 絕望視されてゐたが七日午前十一時三十分長崎に入港...

三名を水葬に 四十日間漂流

九死に一生を得た幸運の漁夫七名 懷しの高雄に生還

【高雄電話】商船廣東航路デリー丸は七日午前七時高雄に入港したが同船にて既報の遭難船員高雄市湊町四ノ一白良久一氏外六名及び去る三月廿五日死亡の... 以下六名の乘組員は九死に一生を得て臨還した喜びと烈熱の南海を...

切な土人に救助されて同十八日サラワク王國の首都クチンに送られ日本人會の人々によつて更にシンガポールに送られ同地帝國總領事館保護の下に送還さるるに至つたのであるが各地にて在留邦人が非常に親切にして呉れた事を衷心感謝してゐる云々

京賓線に 百名の匪賊

守備隊危殆に瀕し 日滿軍救援隊出動

【ハルビン六日發聯合】六日午後六時三十分京賓線三岔河に約百名の匪賊來襲目下同地は危殆に瀕し... 三岔河駐屯の滿洲國守備隊野崎少尉は左腕に負傷を受けた報に依りハルビン其他日滿軍出動救援に向つた

反滿抗日の 不逞分子逮捕

松井錦州部隊が

【錦州六日發聯合】松井錦州部隊は... 反滿抗日を策動せる不逞分子ある事を探知し... 右一味は昭和七年一月九日松尾部隊の... 目下嚴重取調べ中

滿洲國軍少尉 洪金川君歸る

唯一人の臺灣出身將校

滿洲國奉天城安東國兵隊附陸軍步兵少尉洪金川君が來つてゐたがりゆうとした軍服姿で腰間に日本刀を帶び一點の隙もない軍人振りであつた、サロンで次の如く語る

本島出身の滿洲國軍人は現滿國當初數名ゐましたがいづれも正規の訓練をうけてをらぬので今は罷めさせられ現在私が本島出身日系將校としては唯一人の人間です、昭和七年四月渡滿して士官候補生養成所に入つたのです私等の隊は昨年十月十一日より滿ソ國境東寧縣大城子方面へ匪賊討伐に出動してたは止つてをり私も數回戰鬪に參加して二人程この刀で斬りましたよ、最近匪賊は非常に多くなつて共產匪、匪賊〇〇系分子も交りいづれも露領に逃げこむので始末に困つてゐます、露國の國境防備は若

滿洲入の兵士は實に勇敢で去る三月二十一日も二萬河子部落の...

三井紅茶園製
日東紅茶
NITTOH BLACK TEA
發賣元 三井物產株式會社

赤匪に拉致され 瑞金を守る

救はれた本島人送還

【高雄電話】七日高雄入港のデリー丸にて河相廣東總領事保護送還の下に歸臺した一本島人青年がある、同人は臺中州北斗郡沙山庄王功四五九林滿河の弟林滿洋（二）と云ひ支那共產軍に拉致され同軍に編入されてゐたのを討匪軍に擊破された際命からがら廣東まで逃亡し帝國領事館の保護送還を受くるに至つたもので共產軍の爲めに長い間酷使されたので憔悴してゐたが當時の狀況を恐ながらに語る

昭和六年二月支那に留學を志して郷里の公學校卒業後厦門に渡り集美中學校に入學し同八年一月折柄の冬期休暇を利用して支那人の同窓生三名と共に當時共產匪の巢最中なりし福建省の異地沙縣を探險すべく同地に赴いた所日探と誤られ毛澤東の率ゆる東方面共產軍に拉致され極力弁明したが其甲斐もなく慘虐を加へられ果ては臺灣から留學に來たものなら相當富裕な家庭の者に相違ないから身代金二千元を提供せよと要求され之を拒絕した爲め彼等の首都江西瑞金に護送され保衞局（刑務所）に收容されて一般囚人と共に苦役を强要され一年間を經過した、昭和九年九月蔣介石の討匪軍が首都を包圍した際朱德、毛澤東は共產軍の本部隊を湖南に移動瑞金には長々と共產軍の一部を以て... 死守すべく命ぜられた... 瑞金も陷落した...

なつかしい日の丸旗下の臺灣を見る事が出來たこんなうれしい事はない云々

劍橋大學勝

對牛津大學 短艇競漕

【ロンドン六日發電通】六日午後二時四十五分からテームス河下流に開始された第八十七回ケンブリッヂ、オックスフォード兩大學對抗ボートレースにおいてケンブリッヂは十九分四十八秒でオックスフォードを破つた、パントネー橋とモートレーク間曲路四哩四分の一でこれでケンブリッヂ四十六勝、オックスフォード四十勝、無勝負一、ケンブリッヂは千九百二十四年以來十二回の連勝である

『子供の日』に 關する座談會

八日夜教育會館で

臺灣社會事業協會では、來る五月五日を中心とする「子供の日」に... 臺北市內龍口町教育會館に於て「子供の日」に關する座談會を開催することとなつたが子供の保護に關しては各方面の有識者、兒童保護者、實業家、その方面の擔任者や經驗者... 八日午後七時より... 幼兒の保育に關する事項を... 乳幼兒愛護運動の前奏曲として... ることとなつてゐる由

仕込杖で脅し 勘定を踏倒す

泥醉の內地人二名

【基隆電話】六日夜十... 吉田家町安樂に登樓した二人連れの內地人...

巡查と僞り 宿屋で竊盜

臨檢で擧げらる

【基隆電話】基隆水上警察署の刑事は五日夕刻臨家出入搜查の實際市內旅館の臨檢を行つたがその際日新町二丁目大和館で花蓮港廳... と稱して泊り込んでゐた男が餘りに滯在日數の長いので不審を抱いて取り調べた所この男は巡查... それから警丁と次第に資格を下落させ遂には酷しい追究にたへかねて全くのルンペンなる事を自白してしまつた、懷中の金は僅かに一圓、所持品中の辭書の中に三十圓の內地札をはさんでゐたのを發見されて泥を吐く事次の通り... 即ち彼奈良は郷里の中學を卒業後職もなくぶらぶらしてゐる中臺灣がとてもいい景氣だときいて早速職を求めてやつて來たもののたよるものとてなく仕方なく大和館に泊り込む中隣室の大阪商人福永清隆の鞄の中から現金三十五圓を窃取したのを手始めに相當額名から同樣手段で金を盜み出してゐたもので... 段はまことに巧妙で... から少しづつ拔き取つてゐた爲被害者に氣付かれずにゐたのであつて兩刑事の第六感に化の皮をひんむかれその儘臭飯入りとなつた

渡邊司令官披露宴

【基隆電話】基隆要塞司令官渡邊少將は六日午後六時から市內主なる官民百餘名を公會堂に招じ新任披露宴を開催同少將の挨拶に對し松本港務課長は一同を代表して謝辭を述べ歡をつくして七時半散會した

臺北素劇協會

第一回試演を 八九日榮座で

臺北には職業的にも素人連にも演劇團は一つもない、たださへ無味乾燥な臺北生活を益々味氣なくするといふので臺北在住の趣味者有志が中心になつて素劇臺北素劇協會を組織した... 一テラスた... いふのである...

自動車開通

瑞芳金瓜石間に

【瑞芳電話】臺陽鑛業會社の經營に係る瑞芳、金瓜石間の自動車開通に關しては去る六日午後七時州より運轉許可を得たので豫て運轉回數の陣容を整へてゐた同會社では七日正午より總區間の運轉開始を行ひ瑞芳郡下鑛山業界に於て運行上に關する監督及び乘客へのサービス等に好成績を上げた、而して車時間は瑞芳初發午前六時半金瓜石初發同七時半終運瑞芳發午後六時金瓜石發午後七時半三十分おきに運行する右自動車の開通により長年不便を喞れた瑞芳、九分間の交通も利便となり地方民は同會社の行爲に感謝してゐる

珍らしい素描展

臺灣では甚だ珍らしいとされてゐる素描展覽會臺北は...デッサン社主催大稻埕局後で八日まで開かれてゐる、內地でも寸見られぬ程のもので現代の新進作家の新作品などがセザンヌの作品とデッサン等と共に一堂に集められ趣味人の目をひいてゐる、裝飾品の作品も多く七日の如き多數の入場者を見た

基隆郡下の 衛生週間

十日から

【基隆電話】最近の天候不順による流行病が漸く擡頭せんとする時の處置として郡下の住民が各自の警戒と保健衛生思想の普及が必要であるとの見地から衛生週間を定め、郡下各方面に亘り協力各種行事を行つて宣傳に努める事となつた、主なる行事は左の通り

▲講演▲宣傳ビラ▲看板▲衛生週間マーク使用▲活動寫眞▲衛生功勞者表彰▲各團の無料衛生相談等

岐阜商優勝

選拔中等野球

【大阪七日發】選拔中等學校野球決勝戰岐阜商對廣陵中の試合は七日午後一時より甲子園球場において岐阜先攻に開始、結果五對四で岐阜商勝ち優勝四時三十六分

岐阜	1	0	0	0	4	0	0	0	0	5
廣陵	0	0	2	2	0	0	0	0	0	4

嘉義團大勝

【嘉義電話】森永對嘉義團の野球戰は七日午後二時から嘉義公園球場に於て木場（球）吉村、大野、吉田（呂）四氏審判嘉義先攻にて開始、嘉義軍の打擊物すごく八十川、吉野をノックアウトし森永軍はストーブ... 十二對六にて嘉義團大勝

嘉義	0	2	3	0	4	1	1	0	1	12
森永	0	0	0	0	0	6	0	0	0	6

九犯の强者

松山で逮捕

【松山電話】本籍地高雄州岡山郡路竹庄... 七番地無職某（二）は五日午前一時頃夜陰に乘じ七星郡松山庄頂東勢... 方へ忍び込んで金品の盜みあげたところ同家人に發見され警察に急報、巡查は折りよく通りかかつたトラックに乘つて現場に駆けつけた... 附近の住民の應援を得附近一帶を搜査した所... 隱れたのをつきとめ、早速逮捕せんとしたところ大膽にも犯人は必死の抵抗をなしたが遂に逮捕され目下同分室に留置取調べ中

少女の行方判明

臺北市元園町一九〇... の長女... は六日學校に出た儘行方不明になり家人は勿論警察當局も極力搜査に努めてゐた處、六日夜に入り同人が太平町方面の知人宅に行つてゐた事が判明した、原因は子供心に家庭内の事情にいや氣がさし家出して知人方に行つてゐたもので七日父親は警察に出頭を命ぜられ注意を與へられた

臺北で行ふ 花まつり

【基隆電話】基隆佛教聯合會では八日午後一時より花まつり奉讚會を行ふ事となつてゐる...

特別廣告

齒科醫 嘉義市 林齒科醫院

けふの天氣

△臺北地方 東の和風曇時々雨

△北部地方 北東の和風曇時々雨

（臺北測候所發表）

父庄次郎儀兼而病氣自宅療養中の處藥石效無く本日午前十時死去致候間此段謹告仕候

追而告別式は明九日午後... 於て相營可申候

昭和十年四月七日

男 乾一郎
男 義作
代理 庄坂 健二
親戚 石坂 恒
森田 二郎
清水 次郎
...

滿洲皇帝陛下御來訪 第二日參拜明治神宮

御巡覽聖德記念繪畫館等

東京七日電。滿洲國皇帝陛下御來訪第二日。即七日。晩來時寒。陛下在盟邦過第一夜。參拜明治神宮巡覽聖德記念繪畫館。參入大宮御所。各種日程。如意進行。

(同上)六日滿洲國皇帝陛下御入京時。皇帝陛下皇妹三格姬。六日午後三時與佐兄傅儀氏。同參內赤坂離宮。與皇帝陛下御對面。在陛下御座所。至午後六時十分。敍久濶之情。殆近七時歸還。

中南部發生稻熱病 早季蓬萊或減産

爲天候不順及多施肥

本年早季蓬萊米。因耕作面積增大。及施肥增加。每甲收量增進。一時豫想大增産。雖豫料爲內消費增加。而內地移出力。期待八百萬袋。即視昨年增加百萬袋。然本年全島一般多雨。且時有茶熟之日在稻作上。必非順適天候。殊如自昨年來。米價高貴。農家之農家。于本年多用肥料。爲硫安需要激增。逐至窒素肥料過多。因而于稻才。分蘖旺盛。下葉繁茂。而通風不良。誘導發生稻熱病。而早植之屏東。其他南部一帶至中部。均見發生。爲是本年早季蓬萊米。竟出當初所期待。或見爲近年歉收。過去與本年相似之年。在大正十五年。因承十三四年之米價昂騰。蓬萊耕作激增。而陷于窒素肥料過多(當時使用豆粕)。且因天氣不順。中北部方面。發生稻熱病。被害甚巨。北部減收約三成。中部二成。其時南部耕蓬萊尚少。殆止于中北部。然目下已普及全島。殊如本年。南部方面耕作激增。若稻熱病蔓延。則減收程度殊甚。假定爲二成。則全島減收百六十萬袋以上。移出亦自減于昨年。故市場對以後之天候及耕況。頗加多大注意云。

臺灣結核豫防 募集標語

全島一齊結核豫防日來二十七日。結核豫防協會。爲宣傳豫防標語。其方法如左。用紙。官製葉書一枚一句。截止四月十七日。送交督府警務局衛生課內臺灣結核豫防協會。賞金一等十圓(二人)。二等五圓(二人)。三等二圓(五人)。發表期四月二十一日。

鳳梨合同會社 發起人會 可決原案

既報新設臺灣合同鳳梨株式會社。發起人會。去六日午前十時半。第三次集合于高雄州廳會議室。發起人十四名出席。就前日審議未了之創立趣意書。目論見書。定款等。愼重協議。皆可決原案。至午後零時四十後休憩。未幾再開。磋商細目。至四時散會。而定款及其他。由奧川特產課長歸府。報告于上司。然後在臺北公表云。

臺灣米穀協會 七日發會

臺中米業者爲圖產米向上及販賣。金融改善。糾合同志。新設臺灣米穀協會。業于七日午後一時。在臺中市公會堂。舉行發會式。擬由各州。選出常務理事五人云。

國防義會義勇號 兩機訪東臺灣都市

十五日發臺北十八日歸還

臺灣國防義會航空部。所屬義勇飛行機二機。訪問臺灣東部諸都市。並許該地民搭乘。遊覽飛行。以期普及航空觀念。操縱者決定佐倉光一。塚原勇造兩氏。訪問處花蓮港臺東宜蘭三處。日程豫定如下

十五日午前八時發臺北。同九時十五分抵花蓮港。遊覽飛行。十六日午前八時發花蓮港。同九時抵臺東。遊覽飛行。午後零時發臺東。同一時抵花蓮港。十七日休息。十八日午前八時發花蓮港。同八時三十五分抵宜蘭。午後零時發宜蘭。同一時二十分抵臺北。

臺灣長老教 籌備來十月中 七十年祝

距今七十年前。當西曆一八六五年五月二十八日。有英人醫師馬雅各。馬三氏。自本國。奉長老教之命。而來臺灣。六月十六日。設講義所於臺南市看西街即今之(永樂町)。繼而建築規模雄大之禮拜堂。於太平境。即今之(花園町)。於是稱爲臺灣基督長老教會。後逐漸擴張。有臺中。嘉義。臺南。高雄四中會。會均有所屬。總數達百三十餘處。四中本部屬臺南。本年値七十年。開來十月

滿洲國皇帝陛下 接受賀表奉迎文

招待關係者賜茶

東京七日電。滿洲國皇帝陛下。七日午後四時。于御旅館赤坂離宮。由沈宮內府大臣。接受橫山東京府知事賀表。同五時。對近衞。濱田貴衆兩院議長賜謁。奉迎文接受後。特對頭山滿。德富猪一郎氏等。與滿洲國深有關係十七八名。招待于赤坂離宮謁見後。將賜茶。

宮中豐明殿夜宴 首相參列後謹話

東京七日電。岡田首相。六日夜于宮中豐明殿。參列夜宴。午後九時四十五分。于宮中退下後。在官邸謹話如左。本夜御宴。極其莊嚴裡靄然和氣。聖上陛下舉御杯。祝滿洲國皇帝陛下御健康。滿洲國皇帝陛下。亦自舉杯。奉祝聖上陛下御健康。拜觀此和靄光景。吾等衷心思念日滿兩國。結合堅牢。不勝感激之至。宮中有滿洲國寶花馥郁。誠符于東亞兩國歷史的聖宴。參列者一同。各大感作。衷心奉祝皇室榮。滿洲國皇帝陛下殊覺滿足御退下。聖上陛下之御送行。尤感激之至。

臺南州下防瘧作業 本年舉普遍的佳績

審查成績于六日發表

臺南州警務部。昭和九年度防瘧外部作業審查。由委員長佐々木警務部長其他職員。視察州下二署十郡下。然後開審查會。去六日決定優良部落如左。顧本年度績普遍的良好。且施設皆永久的。探驗亦皆比前較優。一等入賞部落。新豐郡三塊厝。永康。關廟。▲新化郡新化。玉井。▲曾文郡六甲。烏山頭。麻豆寮。▲北門郡北門。新營郡安溪寮。白川。番子厝。▲嘉義郡水上。社口。▲嘉義郡竹崎。鹿麻產。▲石碑。▲斗六郡竹圍子。▲虎尾郡東勢厝。大屯子。埤內。▲北港郡土間厝。好收。新街。▲東石郡港

農林省水產局 事務協議

東京七日電。農林省水產局。本年度水產事務協議會。訂來五月六日。至十三日。開于農林省第二會議室。出席者道府縣水產主務課長。水產主任官。其他關係職員。拓務省。朝鮮。臺灣。樺總督府關東廳。樺太及南洋廳。文部省水產關係委員等。

主計局長 渡滿視察

東京七日電。賀屋大藏省主計局長。利用議會後休暇。視察滿洲國。訂來十日午後十時三十分。東京驛發。列車西下。在新京。奉天。大連等處。與日滿兩國要人。就日滿經濟提攜。並財政問題等。交換種々意見。豫定本月末歸國。

吉田〇隊 捕獲匪首

錦州六日電。松井錦州警備隊。最近探悉錦西縣內有策動反滿抗日之不逞分子。吉田〇隊長。指揮石川中尉以下〇〇名出動。逮捕頭目馬某以下八名。此一團似于昭和七年一月九日。襲擊松尾粮秣枝隊。使古賀聯隊長遭難戰死之匪團首領。現正嚴重究問

日俄漁業條約滿期 我國方針決定

東京七日電。明年五月二十八日滿期之日俄漁業條約改訂意思。須于十二個月前之本年五月二十八日發通告。爰于六日午後二時。外務省開外務農林聯合協議會。關係局課長等出席。協議至午後六時。意見完全一致。外務省。立對在駐莫斯科澤田代理大使發出訓電。與莫斯科政府間。開始漁業交涉。而我國方針如左。現行條約繼續[illegible]

花蓮港廳 買路面地均機

按萬五千圓

花蓮港廳下。從來新修或改修道路。無廻轉式路面地均機。非常不便。今後花蓮港市街。擬計畫幹線。規模甚大。現著々實施中。爲是該廳長。在昭和十年度豫算。計上二萬五千圓。按購入重量六噸之路面地均機一臺。要求于督府當局。經得承認。不久手續購入云。

羅東街自轉車 新鑑札換期

臺北州。此次施行自轉車新鑑札。而對羅東街之引換新自轉車鑑札之日程。去六日發表如下。八、九及十日。三日間。自午前九時。至午後四時。在羅東街役場施行云。

臺南州農會 畜產技術員 養成講習續報

既報臺南州農會。昭和十年度新規事業之畜產技術員養成講習。其後照會于州下各郡支部。實習生募集中。而東石郡支部。即通知于各街庄。募志願者。有希望者。可向各街庄役場手續。其採用條件如左。

一、資格。現爲街庄或畜產組合技術員。及年齡十七歲以上公學校卒業後。有從事于農事者。

二、期間。第一回自四月十五日至六月三十日。第二回。自七月一日至九月三十日。第三回。自十月一日至十二月二十八日。第四回自一月六日至三月三十一日。

三、人員。每回按五名。但便宜上。不妨多少增減。

四、習得科目。家畜。家畜管理。飼料作物栽培。畜產物加工。前項之簡易學科。

五、待遇。食費及手當。一日給與三十錢。但宿舍料貸與。右學課終了後。與一般牧畜者同樣。若發功後。無現新築中。爲實地實習云。

松山分室管內 春季清潔日程

七星郡松山分室管內。決定依左記日程。施行春季大清潔。

十三日 松山庄松山一圓

六、八日 松山庄三張犂派出所管內

九十日 松山庄上塔悠派出所管內

六日 內湖庄港墘派出所管內

七日 內湖庄內湖及規頭

八日 內湖庄南港

九日 內湖庄舊庄

東石農業實修 入試合格者

東石郡。東石農業實修學校。今年入學々生。按募二十名。該校內容充實。會經安武文教局長視察。深加獎許。本年應募者殺到。有遠自臺中。會文。北門。新營。北港等郡。而來應募者。計有七十餘名。去五日午前九時起。在該校。嚴正開始試驗。其試驗科目。乃國語。算術。及口頭問答。身體檢查。至去六日發表。合格者許可入校二十名之氏名如左。

會國輝。李財德。蕭山橋。胡金安。盛福連。蔡玉柱。蔡茂林。翁海德。翁仁堅。黃金水。郭枝。呂竹常。黃澄清。陳碧。陳臣嵩。李松坤。黃永盛。陳金住。陳百祿。鄭康宜。

家庭副業 月桃講習

期間一箇月

臺灣月桃會社。爲家庭副業獎勵意味。經臺北市役所。自去月二十日起三十日間。在堀江町元鐵線會社工場。主開月桃講習會。會員四十名。各熱心聽講。現在編製縄。敷物袋物等云。

豐原神社地鎭祭 官民參列嚴肅舉行

郡守報告創立以來經過

豐原神社之整地工事。既見就緒。故擇六日午前十時起。在該處。舉行地鎭祭。宗藤郡守。及兩課職員。外地方官民及團體代表等。多數參列。由臺中神社。波多野神官修祓。嚴肅舉行。至十一時半終了後。宗藤郡守報告創立以來經過。畢各散去。

彰化媽進香 募集團員

彰化驛以此次南瑤宮大媽祖。及四媽祖鑾駕。定來十八日(舊曆三月十六日)。於北港朝天宮進香。欲便參拜者。對彰化嘉義間往復。運轉臨時列車。目下照左要項。募集團體。希望多數從速申入。

一、定員五百名(先到者爲限)。

一、車費大人二圓三十錢。小兒半價(但食費在外)。

一、出發來二十日(午前六時四十分)(舊曆三月十八日)。

一、申入彰化驛。

一、期收四月十五日(舊曆三月十三日)。

新化郡小公學 校長會議

新化郡下小公學校長會議。以去六日朝十一時。開於新化農業專修學校。先由丸山郡守代理訓示。次作佐郡視學紋禮。於是開始礎商事項。至下午三時閉會。其礎商事項。昭和十年度職員配置。職員規律嚴守。學校並學級經營案。外六件云。

開協議會 中部宣傳協會 決定事務所

臺中州官民。協力創立中部臺灣宣傳會。去五日午前十時。在知事官邸。開協議會。日下知事敍禮後。時由松岡中報。常見州協等質問。事務所決置于州構內。豫算按四萬八千圓云。

壽小一年女生 六日失踪 疑乳母牽去

市內元園町十九番地。石部熊太郎之長女香取ナホ八年。壽小一年生。去七日午前十時放課後。延至薄暮。尚未歸宅。因急向親戚友朋之處查探。皆無消息。南署久保田刑事主任接報。急指揮防犯係。極力搜查。晚拘市內堀江町百八十六番地。周番。嚴重查究。亦不得要領。先是石部之內縁某妻。脚氣病。乃將ナホ。託周番之妻。代爲養育。月給十三圓。至客年末。達學齡期。即牽歸就學于壽小學。現尙缺數月間養育料。故疑出於周番。隱匿。調查後。不見有何等可疑之處。旋即釋放云。

誣良家女與之戀愛 託巡查召女母說諭

女之戚友聞知咸抱不平

臺南市開山町一丁目。謝進發。年二十二。業木匠。素行不修。好漁色。具有一丁目。張姓女。芳年十五。姿容曼妙。欲求爲室。恐事不諧。遂異想天開。詭言女與之戀愛。託該管某臺人巡查。召女父至開山町派出所。欲加盤詰。女父係聾人。懼不敢赴。乃由其妻牽女前往。女侍候於外。惟其母入。經該巡查之訊問。女母茫然不知。比出。女問以所以。母具以告。女聞之忿恨。未甘白璧之玷。直往詰該巡查。謂其不合。行非分之干涉。倘謗毀之言外揚。於己名譽有關。乞爲設法懲辦。該巡查諭以無他。令即退歸。女之戚友聞其事。咸抱不平。擬詰官說諭。謝恐累及某巡查。乃懇人出爲緩頰息事云。

蔣姓宗親會 歡迎蔣公使

中華民國駐日公使蔣作賓氏。此次來臺。親到各地到處受官民歡迎。蔣姓引以爲榮。同姓宗親有志水木。添貴。渭川。子敬諸氏發起。訂來十一日午後正四時。假江山樓旗亭。特開歡迎會云。

糊口無方 又復行竊

本年一月出獄

澎湖廳馬公街馬公人許三才。年二十二。方在青年有爲之時。既已入獄三次。去四日晚。在高砂町二丁目附近徘徊中。爲開山町派出所巡查所捕。經視田刑事之訊問。供本年一月。方由臺南刑務所釋出。因糊口無方。客月上旬。乃潛入同町許振家。竊其衣服八件。下旬再入許郊氏銀之處行竊。現拘署追究餘罪云。

臺北市釋尊降誕祭 在西本願寺舉行

參列諸信徒日曜生甚多

臺北釋尊降誕會主催花祭。初按七日午前七時。在新公園音樂堂舉行。因數日來降雨。至是朝更豪雨。延至正午。天氣始見放晴。諸信徒。及日曜學校兒童共他。齊集于西本願寺別院。午後一時。合唱國歌。次稚兒。日曜生獻花。僧侶讀經等。依式順。嚴肅舉式。然後由信徒及兒童。或執旗或曳安置誕生佛之白象。有大鼓吹其他樂隊燦行一路到新公園解散。是日參列信徒等。多至數百人。非常鬧熱。而大稻埕方面亦裝大小藝閣。及音樂陣燦行市內。入晚七時項。在新公園音樂堂。及大稻埕稻江會館。開奉祝講演會也

檢事局 聽取說明

美濃部博士 七日應召

東京七日電。天皇機關說集天下注目之美濃部博士。閑居于小石川區竹早町自邸。內外警官警戒。博士亦避外出。爲應東京地方檢事局召喚。七日午前七時二十五分。携送條憲法精義。其他問題之自著數冊。同三十六分。出頭于指定場所裁判所構內刑務協會。一面檢事局。業與岩村檢事正以下思想部檢事總動員。檢討博士學說[illegible]安部次席檢事戶澤部長檢事以下。雖日曜日。自早晨登廳。于刑務協會樓上一室。由戶澤檢事。開始取調。然其取調。乃以會談的之寬和態度者。

東京七日電。憲法學說問題善後處置問題。司法省銳意研究接洽結果。決對美濃部達吉博士。以任意出頭形式。于七日召喚。同博士應東京檢事局召喚。携帶問題之著書。逐條憲法精義。憲法撮要其他數冊。七日午前七時二十五分。以自動車。出小石川區竹早町一一四自宅。同三十[illegible]

國語普及十年計畫 調查國語會實況

花蓮港廳通牒小公校長

花蓮港廳。基于督府文教局。國語普及十年計畫。對本島人及番人等。努力于國語普及。自昭和八年度以來。對廳下各小公學校長。通牒適當施設。及調查該地方實狀。若既設國語會。更調查其內容。今更對小公學校長。通牒調查九年度地方國語會實況。並基于國語普及計畫實施。豫想將來普及狀況云。

同姓結婚 紛糾續聞

羅東街竹林人李氏阿葉。客年往嘉義市。九月。由媒人嘉義人黃清苑等。紹介與同市。齒科醫助手李炎林爲妾。訂婚後。因同姓關係。阿葉不肯承諾。一將走歸羅東。炎林。客月中。向嘉義署。提出女家共謀詐欺聘金之告訴。一時巷中。議論紛々。後阿葉被召喚往嘉義署。云婚姻成立當時。炎林不從道出自己之姓。後由友人聞知。依然憤。不在相配。又云余有一弟。亦屬幼若。父母早亡。訂盟前。炎林承諾。扶養余弟。訂婚後。言託左右。不肯立約。故余始決意。欲破壞此婚姻。而後得友朋。出爲和解。餅金六十圓免除。女家所受之聘金二百六十圓等。送還男家。遂得圓滿解決云。

安平港外海 機船衝突

原因無點燈

高雄市旗後町。流通公司所有發動機船海珠丸。十九噸。去六日午後八時。駛至距安平二十四海里處。與滿載鮮魚之市內旗後町黃家謙所有發動機船豐壽丸。十一噸。衝突。海珠丸右舷邊。負損傷長約一米。豐壽丸亦損傷。二隻皆瀕于沈沒。幸得駛歸高雄。原因爲豐壽丸。不點航海燈。現由水上派出所查究中云。

訂正一則

去六日貴報夕刊漢文欄。有揭載臺北市太平町大世界館代表者李某。詐欺被疑云々。其實同旅館乃陳某個人經營。與李某全無關係。新聞此記事。全部訂正。(陳發芳)

翰墨因緣

▲三菜塲片公司前役之[illegible]起詩天得五百餘首[illegible]

臺中

祭掃紛々

去五日六日。適値古曆上巳。清明兩佳節。臺中近郊。未能免俗。南山北山頭。東西屯附近。均見士女紛々祭掃。殊呈盛況

交通不便

臺中三大宮前頭汴坑。乘合自動車。入春後。因雨侵蝕。如去二月中旬。迄今週今月。竟未一運轉。通學兒童甚不便。望當局亟爲設法。

左元右二柳營林逢臺。右元左二頭圍曾笑雲。右二左六新竹蘇清池。左三右六佳里黃秋鎔。左四右十三新竹鄭廷濤。右四左十三馬公薛氏琯貴。左五右九新化王則修。右五左十一臺北王雲水。左七右八新竹郭鶴巢。右七奇萊草客。左八右十員林張和鳴。右九佳里陳嘯坡。右十中壢黃籛林

▲彰化崇文社第二百零六期課題。文宗鐵筆生氏選。文題。司馬昭之心路人皆見論。文榜揭曉。一臺南韓丕烈。二新豐王維楨。三臺北卓周紱。四楊梅楊星亭。五竹東劉文清。六楊梅古道興。七臺中傅々。八高雄陳克紹。九新港何陵風。十臺南韓承澤。當期寄附贈品臺北市悄然居士。孔教振興。限四月末日鹿港陳懷澄氏寄附。彰化西門李君曜氏寄附。追懷十八義民祠塚議。限五月末日彰化西門李君曜氏寄附。孔陵七絕不拘。同上。保存十八義民七絕不拘。限五月末日彰化南門黃順吉氏寄附。假志士爲心賦行論。限六月末日彰化無名氏寄附。朋友論。限七月末日彰化某氏寄附。節烈汪劉氏媳余氏。劉湖姑。朱瞀氏。朱耕姑。楊顏氏。黃江氏。康吳氏合傳。限八月末日鹿港黃秋氏寄附。追懷汪門劉氏媳余氏七絕不拘。同劉湖姑同。限八月末日彰化北門陵氏寄附。同朱瞀氏朱耕姑同。同楊顏氏同。黃江氏同。同康吳氏同。限八月末日臺中有志者寄附。

▲新竹市北門外溫金波氏。新由文雅村改築別墅。擬徵詩詞聯文如左。詩題。文雅村即景七律不拘韻。聯文。太原鶴頂格七字至十一字。期限。四月二十日。詞宗。張文樞張純甫兩氏。贈品。兩題十名內各有潤贈。備考。文雅村在新竹市內之北。半村半郭。前有陳溪澄水長流。又有青山環抱。四面樹陰。風雅宜人。自古有文雅之稱。交卷處。新竹市北門外二十五番地溫金波收。

▲竹社課題景賢氏第九期所徵之詩題。計得二百餘卷。經陳竹峰二氏選定。茲將二十名列左。一臺南陽逸人。二新竹陳明。三後龍鄭祖瑛。四高雄劉[illegible]。五中壢古炳。六和黃文鎔。七彰化蘇宜秋。八柳營林逢臺。九鹽埔謝長海。十斗六蔡子黃啓棠。十一蘇宜秋。十二高雄許君山。十三新營劉猷池。十四竹南黃淙々。十五鳳山高雲翔。十六苗栗鄭子粟。十七南投楊木池。十八同莊市隱。十九古炳。二十臺南安溪逸客。

▲又同氏第十期徵詩如左。詩題。文君當壚。絕不拘韻。期限新曆四月末日截收。贈品十名內薄贈。元贈品特託魏澤會員寄宗白劍禪張純甫二氏。交卷張晶三氏潤文君當壚。新竹市瑞景發收。

詩壇

日月潭雜詩 大楊嘯天 陳禎德

蒼茫潭景夜中看。興未闌。恰値東天明月上。
尋幽覽勝過春寒。飯後扶筇
吟節衝破碧潭煙。行近潭東獨木船。疑是水天同一色。
團々大月正中懸。
依稀是處別乾坤。一棹潭邊訪化番。數曲清歌隨杵發。
欲尋古調問根源。
青山碧水自悠悠。隨處逍遙

瀛社擊鉢錄

社雨

右六子清
春祈風景媚。南畝雨如煙。社酒芳香裡。甘霖一穀天。沾時農喜足。浥處稻生妍。大慰來蘇望。村々卜有年。

右七瘦鶴
五戊春方暖。杉檜競賽田。新晨陳社肉。祝稼薦村筵。潤物催新秧。迷空罩暮煙。遙祈杏花天。

左八右十九錫麟
萬絲逢上戊。遙同杏花天。甚祭沾芳澤。流霑潤翠田。家々人載酒。處々燕翻煙。篝祝歆甘霑。君恩澤沛然

一滴如膏澤。生機遍大千。吹簫迎吉戊。擊鼓慶豐年。爲濟蒼生急。非關歛水煎。雞豚春社散。扶醉雨綿々。

左九曉志
來飲祭辰天。村社客滿筵。雞豚同宴日。鳩鳥自呼天。處々飛絲濕。家々扶醉返。新泥猶滑々。澗澤卜豐年。

右九劍仙
雞豚喧里叟。社鼓起淵々。扶醉花枯展。霖苔雨織天。已無桑樹影。遍濕杖頭錢。十里稻粱秀。民歡大有年。

右十左二十成岩
后土千秋社。含茹二月天。鳩呼逢吉戊。龍見賽新田。帶雨栽桃李。催詩設酒筵。祠前如有約。時候却依然

豐原

車中放歌

去五日午前十時。臺中彰化間車內。有二三學生。高唱俗曲。雖受某官吏制止不改。反唇相稽。聞者咸有煩言。

腦炎解除

大屯郡北屯庄。前發生腦炎之保菌者。收容治療中。其後經過甚好。業於去五日解除隔離。

雨量過多

如既報豐原地方一帶。自入本月初以來。連日降雨。不見放晴。故豐原圳下流方面之農民。雖喜得如意溜漑。但上流方面因雨量過多。致蓬萊種之水稻浸水不堪。恐有浸爛之虞。但在來種。即尙無妨云。

屬官異動

豐原郡庶務課商工係屬官長澤折氏。今回調轉於大屯郡。後任乃元臺中市粟原屬。因長澤氏在豐原郡。在勤凡六個年間。故日前郡下。各產業組合職員等。共同爲氏開送別會。

北港

諭告傳達

北港郡守。去五日十時。召集郡下各街庄長。各小公學校長及所屬團體代表于郡會議室。舉自治制施行諭告傳達式。

黃麻磋商

北港郡各街庄。爲獎勵代作。目下極力對各農民。爲獎勵栽培黃麻。頗得相當成績。而郡當局。爲獎勵至州所指定豫定數。乃于去五日午前十一時。召集郡下各街庄產業技手等。于郡會議室。開磋商會。

小說 櫻花夢(下卷)

第五十九回 恒春舊年開闢

太平問祖香曰。此東衆集何人所轄。不審姓名。祖香應曰。是乃先祖父手澤。太平又問曰。令先祖曾服官從政乎。祖香曰。先祖父官章時袭。上字序開。少讀書。習制藝武帖。爲儒學所推許。處取青紫如拾芥。不料文章憎命。屢頓場屋。乘而習申韓。積於刑名。就遂爲府縣頗有聲。經辦二次數劉奉後。大著勳勞。從陞誠敘。始保奉縣丞。擢保奉知縣。指省浙江會稽縣。將行。値先曾祖母病。遂辭官。後沈欽差奏設恒春縣。派候補知縣周有基接篆。周知縣到臺南。晉謁夏道臺獻綸諭示。夏道以縣治初設。地瘠民貧。歲入無少。知縣兩袖清風。無力招聘幕友。而城市村落。如何布置幾合。皆要周縣蒞止。不能無人助理。要爲稍得便法。委派在籍紳士。文武兩員。一爲先祖父。與周知縣到東城助理。一爲藍鼎洲後人武職。皆服周縣蒞。紳家居東港。接近番社。其族人且有娶番婦者。素於理番事宜。頗有心得。率士勇任防禦。民番素甚憚之。皆帖服不動。當時布先祖父亦得安心辦理